

農 林 部

農政課

課長 中村 尚文

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	親子農業体験教室事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	親子農業体験教室事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H22 ~

親子での共同作業により、「自然とのふれあい」や「収穫の喜び」を感じ、広く学ぶことを通じて農業への理解を深め、農業の応援団となってもらう。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容
市内3団体に事業委託し、おおむね5~12月頃まで、月1~2回程度の農業体験教室を市内で開催するもの
平成30年度は事業を見直し、受託要件の緩和(参加組数の下限の引き下げ、トイレ施設の設置条件)
(1) 島内地区(みどりの風、参加10組) 農業体験、草取り、収穫祭、伝統的な松飾りづくり等
(2) 中山地区(中山東花園、参加10組) 農業体験、草取り、収穫、地域講師によるそば打ち等
(3) 今井地区(今井恵みの里、参加6組) 農業体験、草取り、収穫、ジュース工場施設見学等

<現状に対する認識>

実施計画第48号で、地産地消・食育推進事業との統合を提案し、30年度は受け入れ団体・条件の緩和を、31年度は本事業は廃止し補助金化するという見直しとなった。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業を契機に農業や食について更に興味が高まったと答えた親子の割合				
指標の設定理由	事業による体験者の認識への効果を図るため				
目標値	80.00%	84.50%	89.00%	93.50%	98.00%
実績値	95.00%	93.50%	95.50%		
達成度	118.8%	110.7%	107.3%		0.0%
② 成果指標(指標名)	事業を契機に食への行動変化や農業実践等の変化が起きた親子の割合				
指標の設定理由	事業による体験者の行動への効果を図るため				
目標値	60.00%	65.00%	70.00%	75.00%	80.00%
実績値	40.20%	42.30%	41.50%		
達成度	67.0%	65.1%	59.3%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,732		1,205		1,582		0			
国・県					712					
利用者負担金	234		204		156					
その他										
一般財源	1,498		1,001		714		0			
② 人件費(千円)	855	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	0		759	0.1	755	0.1				
嘱託	855	0.3								
合計コスト①+②	2,587		1,964		2,337		0			
前年度比	—		75.9%		119.0%		—			

事務事業評価票

事務事業名	健康生きがい市民農園事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	健康生きがい市民農園事業費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約		
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み		
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進		5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
・農作業体験を通じて、農業に対する理解を深め、遊休農地の活用を図るとともに、高齢者等の健康づくり及び生きがいづくりを図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
市で設置した市民農園の施設管理 ・体験市民農園 市内20箇所(539区画) ・簡易オートキャンプ設備付き市民農園 内田地区1箇所(17区画) ・健康生きがい市民農園 市内2箇所(20区画)

＜現状に対する認識＞
利用者数はほぼ平行線をたどっており、今のところ市民農園を増やす計画はない。空き区画が発生しないよう、周知を図る。 H31年度から1農園閉園となる。 長年園を借りる方も多く、栽培指導会(6～10月、月1回開催)への参加者数が少なかったため、対応をどのようにするか検討する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用区画数(区)				
指標の設定理由	利用区画数が本事業の成果を示すため				
目標値	601	576	576	565	565
実績値	597	569	562		
達成度	99.3%	98.8%	97.6%		
② 成果指標(指標名)	栽培指導会参加者数(農園利用者数×開催回数)				
指標の設定理由	参加人数が本事業の成果を示すため				
目標値	120	120	120	120	120
実績値	40	33	37		
達成度	33.3%	27.5%	30.8%		

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	1,416	1,478	1,526	1,700	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,416	1,478	1,526	1,700	
② 人件費(千円)	2,194	人工	2,277	人工	1,935
正規	769	0.1	2,277	0.3	755
嘱託	1,425	0.5			1,180
					0.4
合計コスト①+②	3,610	3,755	3,461	1,700	
前年度比	—	104.0%	92.2%	—	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農業振興地域整備計画管理
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農業振興地域整備計画管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

優良な農地を農用地域として積極的に確保・保全し、本市の農業振興を図るもの。経済事情の変動等で生じる優良農地への開発計画(農振除外申出)等に対し、営農環境の保全等に留意した適切な土地利用を図りながら、おおむね5年毎に農業振興を趣旨とした全市的な土地利用等の見直しを実施し、農振計画を適正な管理を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

農業振興地域整備計画の変更、見直し等の調査、協議等を年2回実施した。

1 第1回農業振興地域整備計画変更

(1) 申出受付期間 平成30年4月9日から4月23日

(2) 受付件数・筆数 10件11筆
(除外6件、軽微変更3件、編入1件)

(3) 現地調査 5月7日

(4) 松本市農振協議会 8月2日

(5) 軽微変更公告・面積 8月7日 551.00㎡

(6) 重要変更公告・面積 平成30年1月25日 1,790.10㎡

2 第2回農業振興地域整備計画変更

(1) 申出受付期間 平成30年10月1日から10月15日

(2) 受付件数・筆数 11件14筆
(除外5件、公共事業1件、軽微変更3件、編入2件)

(3) 現地調査 11月5日

(4) 松本市農振協議会 平成31年1月21日

(5) 軽微変更公告・面積 1月28日 2,218.84㎡

(6) 重要変更公告・面積 9月下旬を予定 面積未確定

3 総合見直し

(1) おおむね5年に1度実施し、農業振興施策や今後優良農地として保全する区域を明確化して、農振計画を見直すもの。

(2) 令和元年度での事業は無く、当該予算無。

<現状に対する認識>

農業振興地域整備計画の管理により、優良農地を適正に保全することが、農業生産基盤や、効率的な農業経営の維持に必要であり、農業振興と農地開発計画との調整は、利害関係を含むことから、行政による公平な視点が必要であるという視点に立ち、今後とも、地区の農業従事者、町会関係者、農業委員会等から意見をいただきながら、計画の適正な管理を進める。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	農振農用地面積(ha)				
指標の設定理由	優良農地の適切な保全状況を把握することができるため				
目標値	7,525	7,522	7,521	7,520	7,519
実績値	7,525	7,525	7,524		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	616		302		409		600			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	616		302		409		600			
② 人件費(千円)	15,923	人工	15,793	人工	15,785	人工		人工		人工
正規	13,073	1.7	12,903	1.7	12,835	1.7				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	16,539		16,095		16,194		600			
前年度比	—		97.3%		100.6%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	多目的研修センター管理
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	多目的研修センター管理

<事業の狙い>

事業計画年度

～

施設利用時の快適性向上に寄与し、農業及び農村の健全な発展を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 光熱水費等の施設管理費の支払い
- 2 施設の清掃及び運営管理委託

<現状に対する認識>

昭和59年度に建築されてから30年以上が経過し、施設の老朽化が進み維持管理費が増大している。地元住民は隣の新村公民館を利用しており、今後、本当に必要な施設かどうか検討していく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	新村多目的研修センターの利用者数				
指標の設定理由	利用者数が本事業の成果を示すため				
目標値	7,000	7,000	5,000	4000	
実績値	5,675	4,683	3,212		
達成度	81.1%	66.9%	64.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	488		440		446		540			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	488		440		446		540			
② 人件費(千円)	1,054	人工	1,054	人工	1,050	人工		人工		人工
正規	769	0.1	769	0.1	755	0.1				
嘱託	285	0.1	285	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	1,542		1,494		1,496		540			
前年度比	—		96.9%		100.1%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農作物等災害緊急対策事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農作物等災害緊急対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農作物被害に対する再生産を確保するため、農業制度資金の借入者に、利子助成するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 農作物等災害資金利子補給
 - H21凍霜及び降ひょう災害対策資金:13件
市単分のみ
 - H25凍霜害対策資金:27件
県+市負担
 - H26、2月大雪資金:2件
県+市負担
- 病害虫防除事業
 - リンゴ黒星病の拡散防止対策として実施した薬剤散布の農薬購入代
H30 単年

<現状に対する認識>

上記事業はすべて平成30年度予算で補給(補助)が完了するものだが、被害を受けた農業者等を緊急的に救済し、農業経営の安定を図るため、今後も行政支援は必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	529		384		10,730		0			
国・県	186		94		7					
利用者負担金										
その他										
一般財源	343		290		10,723		0			
② 人件費(千円)	570	人工	578	人工	3,610	人工		人工		人工
正規	0		0		3,020	0.4				
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	1,099		962		14,340		0			
前年度比	—		87.5%		1490.6%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	中山間地域等直接支払推進事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	中山間地域等直接支払推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

27～

中山間地域等における農業活動の維持と通じ、耕作放棄地発生を防止、多面的機能を確保するとともに、平地地域との農業生産条件の均整を直接的に補正するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 中山間地域直接支払交付金(旧市及び四賀)

(1) 実施内容

ア 対象地域 8法地域及び特認地域

イ 対象農用地 対象地域内における1ha以上の一団の農用地で一定基準以上の傾斜要件を満たす農用地。

ウ 交付要件 集落協定の締結したうえ、5年以上継続して農業生産活動を実施する集落において、活動レベルに応じた単価により交付金を交付する。

(2) 実績

本郷地区 8集落

中山地区 19集落

内田地区 1集落

四賀地区 16集落

2 基準検討会

今年度開催予定。8月頃

<現状に対する認識>

各集落の耕作放棄地の発生が防止されている。また、水路や法面、農道などの多面的機能も協定に基づく活動により確保されている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	中山間地域等直接支払交付金による実施面積(ha)				
指標の設定理由	集落の農地の維持を把握することができるため				
目標値	199	242	242	242	242
実績値	204	204	204		
達成度	102.5%	84.3%	84.3%	0.0%	0.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	35,004		34,990		34,990		34,990			
国・県	25,037		25,026		25,026		25,026			
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,967		9,964		9,964		9,964			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	35,773		35,749		35,745		34,990			
前年度比	—		99.9%		100.0%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	四賀地区農業振興関連施設管理
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀地区農業振興関連施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

働く場所を提供し、農家の就業機会の確保により地域の活性化を図る。また、農業者等の交流及び福祉の増進を図るための施設の維持管理を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 利用者が少なかった四賀農業体験施設の用途廃止し解体した。
- 2 消防団分団詰所の移転に伴い、中川農業生活改善施設の利用を、平成32年9月までとして、前記詰所と同時に平成32年度に解体することになった。

<現状に対する認識>

補助金等適正化法の期限が切れた施設から、払下げ等を行っていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設の通年利用者の確保				
指標の設定理由	地域の活性化への取り組みは施設の利用により図られるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	692		912		4,033		1,370			
国・県										
利用者負担金	692		912		4,033		1,370			
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	285	人工	289	人工	295	人工	285	人工		人工
正規										
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1	285	0.1		
合計コスト①+②	977		1,201		4,328		1,655			
前年度比	—		122.9%		360.4%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	負担金
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農業振興関係機関と連携をして取り組むもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 農業技術者連絡協議会 50千円
管内農業等の発展に寄与するため、相互に意見交換を行い、災害等の調査、統一した技術指導にあたる。
- 2 農業開発センター 97千円
- 3 長野県農産物等輸出事業者協議会 40千円
- 4 消費拡大事業
 - (1) 内容
松本市、JA松本市、JA松本ハイランドが消費拡大フェアなどへの経費を負担するもの
 - (2) H30実績 630千円

<現状に対する認識>

本市における農業振興における必要な関係機関への必要最小限の負担としている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,187		867		817		1,110			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,187		867		817		1,110			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託										
合計コスト①+②	8,877		8,457		8,367		1,110			
前年度比	—		95.3%		98.9%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	補助金
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農業経営者等の経営基盤を強化するため、認定農業者等の担い手に対する金融面を支援して農業振興を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 スーパーL資金(農業経営基盤強化資金)利子補給金
農業経営改善計画の認定を受けた個人又は法人で経営規模拡大や効率化を図ることを目的に日本政策金融公庫から融資を受けた者に対して借入利子の一部を補助するもの。(40件)
- 2 農業近代化資金利子補給の補助金
農業者との農業近代化に役立つ整備拡充のために融資を行った融資機関に対して助成するもの。(13件)

<現状に対する認識>

低金利の長期化等に伴い補給効果が低減してきたことにより、平成31年度以降の新規補給受付廃止しました。なお既存の利子補給者には、償還期間中の利子補給は継続するものです。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,172		2,323		1,755		2,300			
国・県	506		418		328		300			
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,666		1,905		1,427		2,000			
② 人件費(千円)	855	人工	855	人工	885	人工		人工		人工
正規										
嘱託	855	0.3	855	0.3	885	0.3				
合計コスト①+②	3,027		3,178		2,640		3,155			
前年度比	—		105.0%		83.1%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農畜産物マーケティング推進事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農畜産物マーケティング推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H16 ~

松本の農産物のブランド化、販路拡大等の取組みにより、経済の健康・地域の健康につなげる。地元産食材への理解を深め、地産地消を推進することによって人の健康、地域の健康、経済の健康につなげる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 大消費地等での消費宣伝・トップセールス
出展回数 12回
- 農産物の高付加価値化・ブランド化
 - 松本産野菜・果物の栄養機能食品化に向けた成分分析、販路開拓
 - 松本一本ねぎの地理的表示取得申請に向けた支援
 - 作付拡大奨励事業による伝統野菜の出荷量拡大支援
 - プロモーション用媒体の作成(ポスター、パンフレット)
- 地産地消食育推進事業
地産地消食育推進事業件数 15件(参加児童等延べ 11,200人)
カレンダー配布数 600部
- 地産地消推進会議・懇談会の開催
会議年2回、懇談会年1回
- 地産地消アンテナショップの多目的活用

<現状に対する認識>

本事業は、大きくブランド化推進と地産地消推進の2本からなり、それぞれに対応した成果指標を設定し、達成状況的には概ね順調といえるが、この指標により全体が分かるようなものではない点注意を要する。また、マーケティング推進事業は年々業務範囲が広がっており、事業をこなすのが精一杯といった状況もあることから、目的、手段・手法、効果といった観点からの検証が十分にできていない。これらを踏まえて、既存事業の整理と改善、要員体制の検討が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	野菜の機能性等新たなブランド販売を行う店舗数				
指標の設定理由	農畜産物のブランド化の実績を測る指標となりうるため				
目標値	0	1	2	5	10
実績値	0	5	5		
達成度	-	500.0%	250.0%		
② 成果指標(指標名)	地産地消推進の店登録件数				
指標の設定理由	地産地消の浸透度合いを測る指標となりうるため				
目標値	110	117	124	132	140
実績値	113	113	106		
達成度	102.7%	96.6%	85.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	13,873		13,184		14,324		18,290			
国・県					379					
利用者負担金										
その他										
一般財源	13,873		13,184		13,945		18,290			
② 人件費(千円)	16,321	人工	16,625	人工	16,575	人工		人工		人工
正規	14,611	1.9	15,180	2	15,100	2				
嘱託	1,710	0.6	1,445	0.5	1,475	0.5				
合計コスト①+②	30,194		29,809		30,899		18,290			
前年度比	-		98.7%		103.7%		-			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	家族団らん手づくり料理を楽しむ日推進事業
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	家族団らん手づくり料理を楽しむ日推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H18 ~

日常生活ではバラバラになりがちな食事をみんなで楽しめるよう家族団らんの機会をつくって食について考えてもらうことで、家族のもつ社会的機能の回復や食生活の改善等につなげる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 食育月間に合わせた松本地域産農産物の市内全小学校への配付
5月下旬~7月中旬 30校 対象者約13,300人
- 松本市産農産物を食材として使用した「レシピ集」の作成
伝統野菜の活用 7,300部(中学生に配付)
- 日本型食生活普及事業「おにぎりチャレンジ隊」による一般市民への推進
出展回数 7回
- 地域伝統野菜・郷土食をテーマにした日本型食生活料理講習会の実施
年2回 35人参加
- 小学校向けカレンダー印刷
1000部配布(学級、職員室等)

<現状に対する認識>

成果指標に対する達成状況については、目標値を大幅に上回る結果となっており、農産物配付により家族団らんの機会が実現したと言える。日常的な家族団らん、家族で料理をつくるきっかけとなるよう取り組んだ他の事業については、参加者が少なく、手段・手法等についても見直しが必要と考えるので、効果的な事業となるよう再構築を行い、状況によっては廃止も検討したい。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	児童へ配布した農産物を自宅で家族そろって食べた児童割合				
指標の設定理由	当該啓発事業の実践度を測る指標となるため				
目標値	66%	67%	68%	69%	70%
実績値	86.80%	90.20%	89.60%		
達成度	131.5%	134.6%	131.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,443		2,241		2,326		2,480			
国・県					141					
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,443		2,241		2,185		2,480			
② 人件費(千円)	2,307	人工	1,445	人工	1,558	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3			378	0.05				
嘱託			1,445	0.5	1,180	0.4				
合計コスト①+②	4,750		3,686		3,884		2,480			
前年度比	—		77.6%		105.4%		—			

事務事業評価票

事務事業名	6次産業化支援事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	6次産業化支援事業費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み			○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	3		経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	③		松本産品のブランド化

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H25	～
農産物の付加価値を高めるために、生産・加工・販売を一体で取り組む6次産業化を総合的に支援し、産業力の向上や地域の活性化につなげる。			

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 6次産業化支援事業補助金交付要綱の改正 (1) 内容 補助限度額の見直し(商品開発 50万円→100万円等)、販路開拓申請回数制限(通算3回)、審査会による審査の規定の追加等 (2) 施行 平成30年5月2日
2 松本市6次産業化支援事業審査会の設置 (1) 内容 新たに設置する審査会で案件採択を行うとともに、委員のもつネットワークを活用したシーズ発掘、マッチング、各種連携を行う。 (2) 構成 農業関係者(直売所、加工所)、商業関係者(商工会議所、販売戦略、販路)、有識者(大学、シンクタンク)、地域おこし実践者等 (3) 任期 平成30年10月11日から2年間
3 6次産業化に係る経費の補助 (1) 内容 人材育成、商品開発、販路開拓、施設整備等の利子補給 (2) 実績 販路開拓 1件
4 ブランディングセミナー・個別相談会の開催 平成30年7月9日 Mウイング 参加20人

＜現状に対する認識＞
1 インパクトのある商品開発を促進するために、要綱改正や審査会設置を行ったが、委員のもつネットワークの活用等まで至らなかったことや周知不足が影響し、1件の申請にとどまった。
2 松本市ものづくり産業支援センターのコーディネーターとの連携を強め、今後につながる案件形成等はできつつあるが、更に強める必要がある。
3 異業種間の接点をいかにつくるかが活性化の鍵となる。そのための行政の役割や仕掛けづくりについて今後考え、実践することが必要

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地域農産物による新たな商品開発件数(累計)				
指標の設定理由	6次産業化の直接的な成果品の件数を測定できるため				
目標値	8	10	12	14	15
実績値	7	9	9		
達成度	87.5%	90.0%	75.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞									
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	15	1,547	199	1,680					
国・県									
利用者負担金									
その他									
一般財源	15	1,547	199	1,680					
② 人件費(千円)	1,054	人工	1,518	人工	1,510	人工	人工		
正規	769	0.1	1,518	0.2	1,510	0.2			
嘱託	285	0.1							
合計コスト①+②	1,069		3,065		1,709		1,680		
前年度比	—		286.7%		55.8%		—		

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農林漁業体験実習館管理
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農林漁業体験実習館管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

利と農村の交流を通じ、農業及び農村の健全な発展を図り、地域文化の伝承に寄与する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 光熱水費等の施設維持費の支払い
2 施設及び公衆便所の清掃等委託

<現状に対する認識>

施設設置当時の方針により地元の陶芸や太鼓練習に利用されており、新たな利用者獲得が難しい状況。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	農林漁業体験実習館の利用件数				
指標の設定理由	利用件数が本事業の成果を示すため				
目標値	250	250	250		
実績値	148	138	163		
達成度	59.2%	55.2%	65.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	955		929		943		1,010			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	955		929		943		1,010			
② 人件費(千円)	1,054	人工	1,054	人工	1,050	人工		人工		人工
正規	769	0.1	769	0.1	755	0.1				
嘱託	285	0.1	285	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	2,009		1,983		1,993		1,010			
前年度比	—		98.7%		100.5%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	クラインガルテン関連施設管理
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	クラインガルテン関連施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

クラインガルテンを利用する都市の住民と四賀地区の住民との交流による地域の活性化及び美しい景観と環境を活かした魅力ある地域を創造する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 坊主山クラインガルテン52区画、緑ヶ丘クラインガルテン78区画の公募による利用率100%が、毎年達成できる管理業務の推進
- 2 施設利用者と地域住民の交流事業
 - ・魅力ある各種イベントの開催 16回
- 3 施設の老朽化に伴う改修工事を、毎年度計画的に施工
 - 坊主山クラインガルテン
 - ・屋根、外壁塗装、デッキ改修19棟
 - 緑ヶ丘クラインガルテン
 - ・屋根、外壁塗装、デッキ改修3棟
- 4 毎年の利用者アンケートによる備品購入
 - 坊主山クラインガルテン
 - ・ガスレンジ4台購入
 - 緑ヶ丘クラインガルテン
 - ・ガスレンジ5台購入

<現状に対する認識>

全国で60カ所以上のクラインガルテンが整備されており、開園当時に比べ注目度は低下しているため、引続き目標達成を継続を継続するためには、施設整備の他、独自の取組みのPR活動に努めることが必要

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	クラインガルテンの利用率				
指標の設定理由	施設の利用者と地域住民との交流により地域の活性化が図れるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	99.23%	100%		
達成度	100.0%	99.2%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	66,544		71,072		68,952		73,360			
国・県										
利用者負担金	45,513		44,188		43,782		45,240			
その他	21,031		26,884		25,126		28,120			
一般財源										
② 人件費(千円)	1,339	人工	1,337	人工	1,345	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	67,883		72,409		70,297		73,360			
前年度比	—		106.7%		97.1%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農村広場管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
—		—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農村広場管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農業者等の体かづくり、コミュニティーづくり及び農業振興を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 事業目的
農政課で設置した農村広場等の施設管理及び修繕を行うもの
- 2 事業箇所
農村広場(新村、神林、稲倉ふれあい広場、穴沢運動公園)
農村公園(田溝池農村公園、芥子坊主農村公園)
公衆便所(檜沢温泉、新村農村広場、田溝池農村公園)

<現状に対する認識>

平日、冬期間の利用率が低い。また雨や雪が降った際、使用できない期間が発生し利用者に不便を強いている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	21,011		23,014		18,971		5,680			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	21,011		23,014		18,971		5,680			
② 人件費(千円)	1,054	人工	1,054	人工	1,050	人工		人工		人工
正規	769	0.1	769	0.1	755	0.1				
嘱託	285	0.1	285	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	22,065		24,068		20,021		5,680			
前年度比	—		109.1%		83.2%		—			

事務事業評価票

事務事業名	農業者育成事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農業者育成事業費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み			○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
5つの重点目標		3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略			④新しい働き方・雇用の創出

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

○ 新規就農者等の育成により農業に担い手を確保するとともに、営農機械購入等への支援を行うことで、安定的かつ効率的に本市の営農活動が行われるよう支援する。

○ 認定農業者への農地の利用集積を推進するため、規模拡大を行う認定農業者に対して、農業機械等の取得費用を補助するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

○ 新規就農者関係事業: 主なもの

(1) 新規就農者育成対策事業

ア 新規就農希望者を研修生として採用し、営農技術研修や就農支援を行う。事業主体であるJA松本ハイランドへの事業費負担をする。(H30年度実績: 研修生7名)

イ IJUターンで新規就農を計画する方への相談会を本市で新規就農した農家と一緒に相談を受けるもの(H30年度実績: 2回)

(2) 新規就農者等支援事業

新規就農に必要な初期投資(農業機械等)の負担を軽減することにより、新規就農者の定着促進を図る。(H30年度実績: 3件)

○ 認定農業者関係事業: 主なもの

(1) 未来を担う農業経営者支援事業

農業経営改善計画の目標達成を支援するため、計画に位置付けられた農業機械等を取得する場合、取得費用の一部を補助するもの(H30年度実績: 26件)

○ ほか、松本熟年農業大学、地域営農リーダー育成塾など

<現状に対する認識>

○ 新規就農者への支援

本市へIJUターンで新規就農を希望する方への相談の機会を拡充するため、首都圏で開催される、就農移住フェアへ新規就農者と参加し相談を受ける。

○ 認定農業者への支援

本市の認定農業者の増加等に伴い、事業要望が増加する見込み。

<指標の達成状況>

	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 成果指標(指標名)	新規就農者育成対策事業研修生(累計)					
指標の設定理由	事業による新規就農者数を把握することができる					
目標値	41	43	46	49	52	
実績値	41	43	46			
達成度	100.0%	100.0%	100.0%			
② 成果指標(指標名)	認定農業者数(名)					
指標の設定理由	経営意欲のある中核的な農業経営者数を把握することができる					
目標値	510	515	520	525	530	
実績値	491	511	523			
達成度	103.9%	100.8%	99.4%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	46,348	55,625	57,832	62,810				
国・県	31,037	30,796	29,029	34,500				
利用者負担金								
その他								
一般財源	15,311	24,829	28,803	28,310				
② 人件費(千円)	14,611	人工	18,216	人工	18,120	人工	人工	人工
正規	14,611	1.9	18,216	2.4	18,120	2.4		
嘱託								
合計コスト①+②	60,959	73,841	75,952	62,810				
前年度比	—	121.1%	102.9%	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農村女性活動推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
市長公約	主な取組み		○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農村女性活動推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農村女性の社会的地位向上と豊かな家庭、農村地域づくりを目的に、女性農業者の育成、生活環境の整備、各種学習活動等の事業推進を行い、農村女性自らの社会参画意識向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 女性活動促進推進会議の開催「まつもと農村地域虹の橋プラン」策定、実践
- 2 各地区、マイスターの会での事業推進
- 3 農村女性冬期講座、農業者講座
- 4 家族経営協定の推進
- 5 遊休荒廃農地へ景観用の花の植栽

<現状に対する認識>

まつもと農村女性協議会(会員約280名)と、28年度に発足した女性農業者団体(会員26名)により、両者連携を図りながら事業推進に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	女性認定農業者がいる農業経営体数(名)				
指標の設定理由	女性農業者が中心的な役割を担っている状況が把握できるため				
目標値	37	42	47	52	57
実績値	31	46	55		
達成度	83.8%	109.5%	117.0%		
② 成果指標(指標名)	家族経営協定締結数(名)				
指標の設定理由	女性等の農業経営への参画状況が把握できるため				
目標値	205	210	215	220	225
実績値	207	213	224		
達成度	101.0%	101.4%	104.2%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,782		1,969		1,749		1,850			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,782		1,969		1,749		1,850			
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	5,627		5,764		5,524		1,850			
前年度比	—		102.4%		95.8%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農用地高度利用流動化事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み		○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		③松本産品のブランド化

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農用地高度利用流動化事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

農用地利用権の集積を通じて、農業の中核的担い手の育成・確保と農用地の有効活用を図り、もって農地保有の合理化や、地域農業の振興及び農業構造の改善に資することを目的とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 人・農地プラン作成事業
地域の話し合いと合意に基づき、地域農業のプランを作成する。
- 農地中間管理事業
農地中間管理機構の委託を受け、窓口業務を行う。
- 機構集積協力金交付事業
 - 地域集積協力金:貸付面積に応じて地域に対して交付
H30実績 2,330,108円
 - 経営転換協力金:離農や経営転換等で農地を貸し付けた出し手へ交付
H30実績 5,639,440円
 - 耕作者集積協力金:農地に連坦している農地を貸し付けた出し手等へ交付
H30実績 823,500円
- 土地利用型経営規模拡大奨励金交付事業
1年以上の利用権を設定した認定農業者へ補助金を交付(3,000円/10a)
H30実績 56,486,730円
- 認定農業者への集積率
H30実績 50.0%
=2,413ha/4,822ha
※「認定農業者の耕作面積:H30.3.31時点」に「経営耕地面積:H27農林業センサス」を除いたもの

<現状に対する認識>

・農地の集積を進めるうえで有効な施策であることに止まらず、全国的に広がっている農業の担い手や後継者不足の解消に向けた重要な施策であると考える。
・機構集積協力金交付事業は、数年ごとに制度の見直し・変更が行われてきているため、今後も国の動向に留意しながら、事業の周知とさらなる担い手への農地の集約化を図っていく。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	認定農業者への集積率				
指標の設定理由	農業の中核的担い手の育成・確保の状況を顕著に表わす指標であるため				
目標値	52.9	53.5	54.1	54.7	55.4
実績値	37.2	48.7	50.0		
達成度	70.3%	91.0%	92.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	64,572		69,100		65,536		60,100			
国・県	12,804		14,322		8,804		8,250			
利用者負担金										
その他	117		108		132		160			
一般財源	51,651		54,670		56,600		51,690			
② 人件費(千円)	10,540	人工	10,480	人工	10,500	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	75,112		79,580		76,036		60,100			
前年度比	—		105.9%		95.5%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農業労働力補完支援事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農業労働力補完支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市の農業の労働力補完と市民の農業への関心を高めるため。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市アグリサポート推進事業
 ・アグリサポート推進協議会事務局が役割分担をし、農作業労働力補完を行う。
 ・農繁期のりんごの作業について、市民が農家の作業支援を行う。
 春季6日間(摘果作業) 秋季6日間(葉摘み、玉回し作業)

<現状に対する認識>

利用者(農家)からの要望は多いが、支援者数が大幅に足りないため、事業の周知をさらに徹底して行う必要がある。また、周知対象者を具体的に絞っていく必要もある。
 農家からの要望は増加傾向にあり、更なる労働力の確保が必要となる。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	充足率(協力人数/支援希望人数)				
指標の設定理由	充足率が本事業の成果を示すため				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	85	80	71		
達成度	85.0%	80.0%	71.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	173		181		167		160			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	173		181		167		160			
② 人件費(千円)	2,194	人工	2,277	人工	1,935	人工		人工		人工
正規	769	0.1	2,277	0.3	755	0.1				
嘱託	1,425	0.5	0	0	1,180	0.4				
合計コスト①+②	2,367		2,458		2,102		160			
前年度比	—		103.8%		85.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	遊休荒廃農地対策事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	遊休荒廃農地対策事業費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援		
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H17～H32
1 遊休荒廃農地対策事業補助金 国の補助対象(農業振興地域内の農用地区域等(青地))以外の耕作放棄地の解消作業を行い、農地として再活用する者に対し補助金を交付するもの 2 農業生産振興事業補助金 国補助事業により再生作業を行うものに対し、補助を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 遊休荒廃農地対策事業補助金 耕作放棄地解消のために行う草木の伐採及び抜根、耕運、土壌改良剤の投与等の再生作業に要する経費に対し、3,500円/a～7,000円/aの範囲で補助を行うもの 2 農業生産振興事業補助金 国補助事業経費の1/10を上乗せ補助するもの

＜現状に対する認識＞
平成30年度において国事業のリニューアル、令和元年度より国事業廃止にともない、今後市事業の実施が増加する事が予想される。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	荒廃農地解消面積(ha)				
指標の設定理由	荒廃農地が解消され農地の有効利用が促進されるため				
目標値	10	10	10	10	10
実績値	66	10	10		
達成度	660.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	798	273	182	380	
国・県	665				
利用者負担金					
その他					
一般財源	133	273	182	380	
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755
正規	769	0.1	759	0.1	755
嘱託					0.1
合計コスト①+②	1,567	1,032	937	380	
前年度比	—	65.9%	90.8%	—	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

国の政策として、転作等をする稲作農家の経営安定と国内生産力の確保を図り、食料自給率の向上と農村が保有する多面的機能の維持を進めるため行なうもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

経営所得安定対策直接支払推進事業費
地区協議会との連絡調整、各種取りまとめ等を行い、経営所得安定対策の申請の事務を行う。

<現状に対する認識>

国の政策として米の生産調整を順調に実施してきたが、この制度は平成29年で終了し、平成30年以降は行政による生産数量の配分に頼らない、需要に応じた生産を行うこととなり、農業再生協議会が中心になり、水田フル活用ビジョンを作成し、地域振興作物等の作付けを誘導することになります。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	経営所得安定対策の申請件数				
指標の設定理由	国の政策による稲作農家の経営安定に向けた状況が把握できるため				
目標値	2,441	2,318	1,000	1,000	1,000
実績値	2,418	2,387	1011		
達成度	99.1%	103.0%	101.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	35,147		36,670		32,155		33,390			
国・県	24,818		26,222		22,213		23,390			
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,329		10,448		9,942		10,000			
② 人件費(千円)	18,230	人工	18070	人工	18,050	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	53,377		54,740		50,205		33,390			
前年度比	—		102.6%		91.7%		—			

事務事業評価票

事務事業名	農産物生産振興対策事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農産物生産振興対策事業費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

有害鳥獣による農作物被害に対し、獣害被害防護柵の設置及び維持管理、協議会活動への負担を通して営農意欲の減退や耕作放棄地の増加などを阻止し、農家の経営安定を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 獣害防護柵維持管理
市が資材を提供し、地元が労力を提供する協働方式により防護柵の維持管理を行うもの。また、自然災害などによる設置した防護柵の破損に対し、資材の提供を行う。倒木による防護柵の破損については補修作業に必要な支障木撤去について委託契約を結び負担を軽減する。成果指標は獣類による農作物被害金額による。
- 農作物食害防止事業
2戸以上の農家が共同で設置する防護柵等野生鳥獣の侵入防止施設に対し、必要な資材購入費を1/2以内で助成するもの。成果指標は獣類による農作物被害金額による。
- 松本広域鳥獣被害防止総合対策協議会
中信地区の市村などで構成される協議会の運営・活動に対し負担を行い捕獲用資材の購入や緩衝帯整備などの鳥獣害対策を支援するもの。事務経費の出資割負担金であるため、指標となるものはない。
- 産地パワーアップ事業
高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な機械や機器リース導入に要する経費、施設整備に必要な経費、改植時に必要な経費、転換期に必要な資材導入などに要する経費等を支援する。補助率1/2以内。

<現状に対する認識>

鳥獣被害防護柵の設置により、獣による被害額は減少している。一方で、松枯れや台風・大雪など自然災害による防護柵の破損が発生すると、そこから野生鳥獣が侵入するため、被害の増加につながってしまう。
防護柵の健全な状態を維持していくため、今後も破損の際には維持管理に必要な修繕等の材料を提供していく。また、有害鳥獣対策は捕獲に力を入れ、防除と組み合わせた被害軽減を目指す。

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	獣類による農作物被害金額(千円)				
指標の設定理由	防護柵設置による効果が把握できるため				
目標値	17,114	16,771	16,435	16,106	15,744
実績値	17,946	18,447	17,024		
達成度	104.9%	110.0%	103.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	69,085	3,583	37,133	1,180						
国・県	48,941		34,410							
利用者負担金										
その他	5,900									
一般財源	14,244	3,583	2,723	1,180						
② 人件費(千円)	23,070	人工	22,770	人工	22,650	人工		人工		人工
正規	23,070	3	22,770	3	22,650	3				
嘱託										
合計コスト①+②	92,155		26,353		59,783		1,180			
前年度比	—		28.6%		226.9%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	環境保全型農業推進事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境保全型農業推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

平成16年度～

有効な農地風食防止対策を関係機関との連携強化を図り、統一かつ広域に推進、実施し、風食被害の防止を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本南西部地域農地風食害対策協議会

1 麦作付け誘導対策

現在まで確立された技術の中で、最も有効な風食防止対策である麦の作付け誘導を進める。事業計画の作成は協議会で行う。

2 啓発対策

各市村・JAにおいて広報・Eメール等での啓発及び情報提供を実施し、播種、耕起などによる発生防止対策を促す。

<現状に対する認識>

「生産者の財産をである土壌を守り、生活者に迷惑をかけない野菜産地を築く」をキーワードに、風食防止対策を関係機関の連携を強化し、広域的推進を実施し、被害の防止を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	200		200		200		200			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	200		200		200		200			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	1,738		1,718		1,710		200			
前年度比	—		98.8%		99.5%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	環境保全型農業直接支払事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境保全型農業直接支払事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

平成23年度～

営農活動を通じた地球温暖化対策及び生物多様性保全対策の推進をする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

有機農業者や緑肥を作付するエコファーマーなど環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者を直接支援するもの。(国・県との一体的事業)
環境保全型農業直接支払事業費

1 対象者

販売を目的に生産し、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者団体等

2 対象取組

化学肥料・化学合成農薬の使用低減や有機農業等

3 支援単価

最高8,000円/10a(取組内容により異なる)

4 補助率

国1/2 県1/4 市1/4

推進事務費

農業者等に対する説明会の開催及び助言・指導や、交付金の対象となる取組の実施状況等の確認等に係る事務費補助(定額交付 補助率10/10)

<現状に対する認識>

平成27年度制度改正により、個人での申請から団体での申請になったため、団体に所属していない農業者は申請ができない。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	エコファーマー認定者数(累計)				
指標の設定理由	環境にやさしい農業に取り組む農業者の認定数(県認定)				
目標値	340	345	350	355	360
実績値	340	351	357		
達成度	100.0%	101.7%	102.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,576		1,730		1,430		2,940			
国・県	1,158		1,263		1,087		2,215			
利用者負担金										
その他										
一般財源	418		467		343		725			
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	5,421		5,525		5,205		2,940			
前年度比	—		101.9%		94.2%		—			

事務事業評価票

事務事業名	そ采花き振興
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	そ采花き振興費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約		
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承		5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度	～
1 産地パワーアップ事業 地域の営農戦略に基づいて実施する産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援し、農業の国際競争力を図る。 2 農畜産物生産出荷安定対策事業 野菜、花き農家の経営安定対策のため。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 産地パワーアップ事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な機械や機器リース導入に要する経費、施設整備に必要な経費、改植時に必要な経費、転換期に必要な資材導入などに要する経費等を支援する。補助率1/2以内。
2 農畜産物生産出荷安定対策事業 野菜、花きは価格変動が大きいことから、野菜生産安定基金協会への加入掛金に補助をする。農家・JA・行政で1/3ずつ負担。 平成30年度 加入数量 4,181千ケース

<現状に対する認識>

産地パワーアップ事業 ・現在の計画は平成30年までの最終年度。 ・JA松本ハイランド山形村支所予冷庫冷蔵庫整備は、既存の倉庫解体時にアスベストを使用が確認され、その処理のため工期が大幅に遅れ、令和元年度への繰越事業。
--

<指標の達成状況>

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	119,927	165,541	18,508	3,500	
国・県	117,563	161,848	14,478		
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,364	3,693	4,030	3,500	
② 人件費(千円)	7,690	7,590	7,550		
正規	7,690	7,590	7,550		
嘱託	1	1	1		
合計コスト①+②	127,617	173,131	26,058	3,500	
前年度比	—	135.7%	15.1%	—	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	果樹振興
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	果樹振興費

<事業の狙い>

事業計画年度

平成23年度～

- りんご産地再生モデル事業
高齢化により生産性の低下しているりんご産地の再生を図る。
- 果樹共済加入促進対策事業
果樹共済の加入促進を図り、果樹農家の経営の安定を資する。
- 果樹経営者支援事業
果樹棚整備の取組みを推進し、果樹産地の再生を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- りんご産地再生モデル事業
作業効率や生産性の向上を目指し新たな栽培方法である「新しい化」を推進するために、苗木の購入に対しての補助。補助率1/10
- 果樹共済加入促進対策事業
災害発生時に果樹農家の経営安定を図るため、果樹共済への加入率向上を目的に、加入掛金を補助。補助率2/10(H30まで3/10)
- 果樹経営者支援事業
果樹棚(トレリス、平棚等)の資材購入費及び設置にかかる費用を補助。補助率1/10

<現状に対する認識>

- りんご産地再生モデル事業
平成30年6月に発生したリンゴ黒星病により、目標面積の65haを達成するため次年度以降も推進する。
- 果樹共済加入促進対策事業
令和元年度より収入保険が開始され国は収入保険への移行を推進。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	新しい化栽培導入面積(ha)				
指標の設定理由	栽培面積の約10%にあたる65haの新しい化栽培の導入を目指す				
目標値		52.3	60.9	65.0	65.0
実績値	42.2	49.7	52.7		
達成度	#DIV/0!	95.0%	86.5%		
② 成果指標(指標名)	果樹共済加入率(%)				
指標の設定理由	加入率50%を目指すため				
目標値	42.5	44.0	45.5	47.0	48.5
実績値	42.5	41.3	41.5		
達成度	100.0%	93.9%	91.2%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	17,488	17,897	14,451	57,320	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	17,488	17,897	14,451	57,320	
② 人件費(千円)	7,690	7,590	7,550		
人工	1	1	1		
正規	7,690	7,590	7,550		
嘱託					
合計コスト①+②	25,178	25,487	22,001	57,320	
前年度比	—	101.2%	86.3%	—	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	畜産振興
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	畜産振興費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地域における畜産業の経営安定を図るため、広域家畜診療所への運営費負担及び農家等への支援事業を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 長野県農業共済組合 家畜診療所運営費負担金
 中信地区の広域的な家畜診療所運営に対し運営費を負担するもの。活動指標は診療件数。
- 農畜産物生産出荷安定対策事業
 畜産物の価格変動による農家経営の不安定化を防止するため、共済掛金等に補助を行うもの。活動指標は加入頭(量)数。
- 高品質畜産物生産基盤確立支援事業
 酪農ヘルパーの利用、優良豚の解体及び等級の高い肉用牛の出荷へ補助を行い、畜産農家の生産意欲向上と経営安定を目指すもの。活動指標はそれぞれ総利用回数、解体頭数、出荷頭数。

<現状に対する認識>

高齢化による畜産農家の減少に加え、子牛・飼料価格の高騰による経営圧迫など、畜産業は厳しい状況にある。畜産業を継続させていくためにも引き続き補助事業等支援策が求められている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	酪農ヘルパー利用総数				
指標の設定理由	酪農経営の作業効率や生産性向上の状況を測ることができるため				
目標値	580	580	580	580	580
実績値	579	528	665		
達成度	99.8%	91.0%	114.7%		
② 成果指標(指標名)	肉用牛の公社への出荷頭数(A4以上)				
指標の設定理由	質の良い肉用牛の出荷状況が把握できるため				
目標値	550	550	550	550	550
実績値	638	717	579		
達成度	116.0%	130.4%	105.3%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	208,714		112,304		10,967		12,860			
国・県	198,542		100,131							
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,172		12,173		10,967		12,860			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,690	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,690	1		
嘱託										
合計コスト①+②	216,404		119,894		18,517		20,550			
前年度比	—		55.4%		15.4%		—			

事務事業評価票

事務事業名	四賀有機センター管理
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	四賀有機センター管理費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約		
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承		5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
家畜排せつ物を堆肥化することにより畜産環境問題を改善し、有機肥料として販売することで農地の土壌改良と化学肥料の使用を減らした持続性の高い農業生産方式の導入を促進する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 農家から持ち込まれる畜糞の堆肥化 ・搬入農家 3法人
2 有機堆肥の販売・散布 ・30ℓ袋、フレコン、バラの3種類による販売 ・散布機によるほ場への散布
3 臭気対策 堆肥化に伴う悪臭の削減と飛散防止 ・臭気モニターにより発生状況を把握し、原因究明と対策を図った。 ・建物の隙間の密閉化による飛散防止 ・上記の対策によって、苦情件数も減り臭気モニター委託の結果も皆減した。
4 管理運営方法の見直し 新たな運営形態への移行(直営運営から指定管理者制度へ移行)のため、地元2町会和施設建設前に結んだ協定書または覚書を廃し、新たな協定の締結に向けた意見交換会を開催したが、市に対する信頼関係が十分に構築されていないという理由から、同意を得られていない。

＜現状に対する認識＞
・直営運営から指定管理者制度への移行が進まない状況で、平成28年度から稼働している脱臭装置の電気料の高騰や施設の老朽化による修繕費の増大で、収支赤字が拡大している状況
・畜糞搬入農家に今後の経営意向を把握して、施設自体のあり方について検討材料としたい。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	堆肥販売量(t)				
指標の設定理由	健康な土づくりの拡充の状況を直接的に測定できるため				
目標値	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
実績値	1,545	1,485	1,080		
達成度	107.3%	103.1%	75.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	44,143	38,099	53,902	38,760		
国・県						
利用者負担金	10,557	10,908	6,192	10,770		
その他	17,968	10,656	7,788	11,210		
一般財源	15,618	16,535	39,922	16,780		
② 人件費(千円)	8,830	人工	8,746	人工	8,730	人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1
嘱託	1,140	0.4	1,156	0.4	1,180	0.4
合計コスト①+②	52,973	46,845	62,632	38,760		
前年度比	—	88.4%	133.7%	—		

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市場一般管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	公設市場
予算中事業名	市場一般管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

平成元年～

長野県内の生鮮流通の拠点である公設地方卸売市場の適正、健全かつ効率的な運営を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市場運営業務
指定管理者による効率的で公正、公平な市場の管理運営

<現状に対する認識>

指定管理者による運営が7年目となる中、流通業界の再編の動きが激しくなってきた。11年目以降の運営方針について、市としても方向性を見出す時期となってきたため、将来の運営展望を定め方針を固めていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市場取扱金額(億円)				
指標の設定理由	市場の取扱について客観的に示すことができる指標であるため				
目標値	430	430	430	430	430
実績値	383	367	345		
達成度	89.1%	85.3%	80.2%	0.0%	0.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	199,169		217,443		224,440		239,020			
国・県										
利用者負担金	141,833		155,289		160,150		169,045			
その他	57,336		62,154		64,290		69,975			
一般財源										
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	203,014		221,238		228,215		239,020			
前年度比	—		109.0%		103.2%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	松本市公設地方卸売市場施設管理
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	公設市場
予算中事業名	市場施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

平成元年～

長野県内の生鮮流通の拠点である公設地方卸売市場が、老朽化等で市場機能が停止しないよう、機能維持や安全確保のため施設管理を継続実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市場施設管理
建設から30年以上が経過しており、市場内の施設や設備の老朽化が著しいことから、機能維持や安全確保のため、改修工事を継続実施中。指定管理者制度導入により大部分は指定管理者へ移管しているが、一部の工事は市が実施。

- ・ 受変電設備新設工事
- ・ 防火水槽新設工事
- ・ 防火水槽移設に伴う給水工事
- ・ 花き棟空調設備改修工事
- ・ 花き棟及び青果棟電源設備改修工事
- ・ 花き棟シャッター取替工事
- ・ 東側門扉改修工事
- ・ 水産第二附属棟高圧機器更新工事
- ・ パナナ加工棟高圧機器改修工事
- ・ 主棟水産エリア渡り廊下他防水工事
- ・ パナナ加工棟キュービクル改修工事
- ・ 水産棟軒天照明改修工事
- ・ 花き棟仲卸天井改修工事
- ・ 集中管理システム無停電電源装置更新工事 他

<現状に対する認識>

食の安全担保やコールドチェーン化が必須だが、耐用年数を超えた未改修の施設・設備が多数あるため、老朽化・故障等で市場機能が停止しないよう、順次補修や改修工事が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市場取扱金額(億円)				
指標の設定理由	市場の取扱について客観的に示すことができる指標であるため				
目標値	430	430	430	430	430
実績値	383	367	345		
達成度	89.1%	85.3%	80.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,200		2,651		70,202		35,090			
国・県										
利用者負担金	1,540		1,856		49,141		24,563			
その他	660		795		21,061		10,527			
一般財源										
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	1,133	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	1,133	0.15				
嘱託										
合計コスト①+②	2,585		3,031		71,335		35,090			
前年度比	—		117.3%		2353.9%		—			

事務事業評価票

事務事業名	松本市公設地方卸売市場施設整備事業
-------	-------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	公設市場
予算中事業名	市場施設整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	平成元年～
長野県内の生鮮流通の拠点である公設地方卸売市場が、舗装の劣化・損傷等により市場機能に支障をきたさないよう、機能維持や安全確保のため改修や整備を継続実施するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
市場施設整備事業 建設から30年以上が経過しており、市場内の舗装劣化が著しいため、荷崩れ等の事故が発生しないよう劣化・損傷している舗装の改修工事を継続実施中。指定管理制度導入後も整備事業は市が実施。
舗装改修工事 工事面積 主棟東側通路 約6,410㎡

＜現状に対する認識＞
食の安全担保やコールドチェーン化が必須だが、舗装の劣化・損傷等により市場機能に支障をきたさないよう、順次改修工事が必要。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市場取扱金額(億円)				
指標の設定理由	市場の取扱について客観的に示すことができる指標であるため				
目標値	430	430	430	430	430
実績値	383	367	345		
達成度	89.1%	85.3%	80.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)		46,732	30,726	34,463	39,550		
	国・県						
	利用者負担金	46,732	30,726	34,463	39,550		
	その他						
	一般財源						
② 人件費(千円)	1,154	人工	1,139	人工	1,133	人工	
	正規	1,154	0.15	1,139	0.15	1,133	0.15
	嘱託						
合計コスト①+②		47,886	31,865	35,596	39,550		
前年度比		—	66.5%	111.7%	—		

耕地林務課

課長 岩田 公晴

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農村公園管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農村公園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農村地域における地域住民等のコミュニティーづくりを図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- (1) 農村公園の保全管理に関する業務
- (2) 農村公園内外の清掃、除草に関する業務
- (3) 農村公園付随の施設の管理に関する業務
- (4) 指定管理による管理運営の実施
→ しがビューティフルパーク

<現状に対する認識>

農村公園の安全確保を図る
農村地域における農業者等のコミュニティーづくり及び地域農業の振興を図る

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	しがビューティフルパーク利用人数(人)				
指標の設定理由	マレットゴルフ場の使用申込み人数の確認				
目標値	1300	1300	1300	1300	1300
実績値	1494	1375	1294		
達成度	114.9%	105.8%	99.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,274		4,654		4,654		5,090			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,274		4,654		4,654		5,090			
② 人件費(千円)	3,361	人工	3,325	人工	3,315	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	10,635		7,979		7,969		5,090			
前年度比	—		75.0%		99.9%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農林業有害鳥獣対策事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農林業有害鳥獣対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農林業被害の軽減を図るため

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 個体数調整、有害鳥獣管理
野生鳥獣による農林業被害を減少させるため、有害鳥獣の個体数調整を行いました。
平成30年度捕獲状況
指標のとおり
- 2 有害鳥獣の集落へ出没した場合の対応
猟友会員を鳥獣被害対策実施隊員(非常勤公務員)として任命しました。(316名)
- 3 地域住民自らが、対象鳥獣捕獲を実施
集落等捕獲隊の設立(四賀73名、入山辺59名、中山30名、安曇13名、梓川21名)
- 4 新規銃猟者への支援
駆除従事者確保のため、新規銃猟者に対する支援を行いました(新規銃猟者6名)

<現状に対する認識>

・鳥獣による農林業被害は、防護柵の設置と捕獲圧の維持により大型獣類は減少しているが、西部地区にてサルによる被害と、市全域で鳥類と中小獣類による被害の相談が寄せられている。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	獣類捕獲				
指標の設定理由	農林業被害に基づく有害鳥獣駆除実施計画を作成				
目標値	2,130	2,203	2,203	2400	
実績値	2,512	2,557	1,926		
達成度	117.9%	116.1%	87.4%		
② 成果指標(指標名)	鳥類捕獲				
指標の設定理由	農林業被害に基づく有害鳥獣駆除実施計画を作成				
目標値	5,200	5,200	5,200	5200	
実績値	4,733	3,882	2,500		
達成度	91.0%	74.7%	48.1%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	17,270		17,560		21,178		27,940			
国・県	8,408		6,617		7,521		18,330			
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,862		10,943		13,657		9,610			
② 人件費(千円)	14,385	人工	12,830	人工	12,800	人工		人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,325	1.5				
嘱託	2,850	1	1,445	0.5	1,475	0.5				
合計コスト①+②	31,655		30,390		33,978		27,940			
前年度比	—		96.0%		111.8%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	森林造成事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	森林造成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市内の森林の水源涵養・山地災害防止等の多面的機能を発揮させるため、松本市森林整備計画に基づき森林整備を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市有林造成事業
市が管理する市内の市有林整備の実施
- 森林造成事業補助金
林業事業者等が実施する森林整備に対して市嵩上げ補助を実施
- 森林整備地域活動支援交付金事業
林業事業者が森林経営計画の作成に対する経費の市嵩上げ補助を実施

<現状に対する認識>

森林は林産物の生産のみならず、水源かん養等公益的機能を持っているが、材価の低迷等により森林所有者等の山離れが進み、適切な手入れがされていない森林があることから、森林整備に対する市嵩上げ補助を実施し、森林所有者の個人負担を軽減する。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	目標面積(ha)				
指標の設定理由	森林の持つ多面的な機能を発揮させる。				
目標値	280	280	280	280	280
実績値	159	117	25		
達成度	56.8%	41.8%	8.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	23,246		19,823		29,694		36,650			
国・県	2,903		2,957		6,536		2,580			
利用者負担金	0		0		0		0			
その他	2,426		779		7,751		2,000			
一般財源	17,917		16,087		15,407		32,070			
② 人件費(千円)	7,690	人工	5,132	人工	4,825	人工		人工		人工
正規	7,690	1	4,554	0.6	4,530	0.6				
嘱託	0		578	0.2	295	0.1				
合計コスト①+②	30,936		24,955		34,519		36,650			
前年度比	—		80.7%		138.3%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の野外レクリエーション活動の推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 指定管理事業
施設の使用受付、許可、使用料徴収、施設の維持管理及び事業の企画運営等を主な業務として、TOY BOXへ委託
- 施設の改修事業
快適な施設利用や、利用者数の増加を目的とした施設改修等の実施

<現状に対する認識>

・施設設置から20年余りが経過し、施設の老朽化が進んでいるため、計画的な改修が必要

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本市美鈴湖もりの国利用者数(人)				
指標の設定理由	事業の成果が直接図れる数値のため(指定管理者の数値目標と同様)				
目標値	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
実績値	5,881	5,495	5,667		
達成度	106.9%	99.9%	103.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,158		8,176		7,167		6,500			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,158		8,176		7,167		6,500			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,307	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,307	0.3		
嘱託										
合計コスト①+②	9,465		10,453		9,432		8,807			
前年度比	—		110.4%		90.2%		—			

事務事業評価票

事務事業名	松くい虫対策事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	松くい虫対策事業費

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞ 事業計画年度 平成29年度～平成33年度

松くい虫被害のまん延を防止するため

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 松くい虫被害木の伐倒駆除
H30 3664.1㎡
- 対策協議会の設立
対策協議会設立数 6協議会
- 松くい虫被害拡大防止に向けた個人等への補助
樹幹注入補助 45件、被害木伐採 176件
- 森林での被害状況調査
調査日数 39日
- 被害拡大防止のため、無人ヘリコプターによる薬剤散布の実施
四賀地区 33ha
- 松くい虫被害感染確認
検体調査数 67本(49件)
うち22本が感染確認

＜現状に対する認識＞

・松くい虫被害は、市民の協力を得る中、各種対策を講じているが、被害は拡大している。守るべき松林の明確化を図り、対策を集中するとともに、被害先端地の徹底駆除に取り組む。

＜指標の達成状況＞ 総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松くい虫被害木の伐倒駆除				
指標の設定理由	感染木の早期伐採により、感染拡大防止を抑制するもの				
目標値	感染木伐採 3,500㎡/年				
実績値	3,707	3,573	3,664		
達成度	105.9%	102.1%	104.7%		
② 成果指標(指標名)	対策協議会設立				
指標の設定理由	被害進行に対する対策の市民の意向を早期に反映させるもの				
目標値	未設置地区での協議会の設立				
実績値	4	5	6		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	95,295		95,306		99,696		141,850			
国・県	53,428		68,489		68,582		108,850			
利用者負担金										
その他										
一般財源	41,867		26,817		31,114		33,000			
② 人件費(千円)	14,385	人工	12,830	人工	12,800	人工		人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,325	1.5				
嘱託	2,850	1	1,445	0.5	1,475	0.5				
合計コスト①+②	109,680		108,136		112,496		141,850			
前年度比	—		98.6%		104.0%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業施設管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

林業を主要産業とし、林業従事者等の確保を図る。また、田舎と都市の交流の場所として、里山を中心とした森林の多目的利用、公益的な施設を通じて自然環境学習を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 林業センター・林業者等健康増進管理集会施設・五常集落生活環境施設施設管理を行い、林業者等の労働環境を整備する。
- 2 環境学習の森管理事業
指定管理者制度で交流促進センター等の施設管理や環境林の整備を行う。
- 3 千鹿頭山森林公園
施設の維持管理を行い、安心して利用できる環境を整える。

<現状に対する認識>

・林業施設の老朽化や交流促進センター等の利用者も減少しているため、施設維持管理の検討を図る。
・公園内のアカマツの松枯被害が拡大しつつあり、蔓延防止のための対策が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	林業者等健康増進管理集会施設(%)				
指標の設定理由	林業センターの利用促進(人)				
目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
実績値	1,523	1,545	1,455		
達成度	101.5%	103.0%	97.0%		
② 成果指標(指標名)	環境学習の森管理事業(%)				
指標の設定理由	環境学習の森の交流センター、コテージの利用促進(人)				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	830	821	731		
達成度	83.0%	82.1%	73.1%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	11,056		10,177		10,872		11,270			
国・県										
利用者負担金					110		290			
その他										
一般財源	11,056		10,177		10,762		10,980			
② 人件費(千円)	10,282	人工	10,156	人工	10,110	人工		人工		人工
正規	9,997	1.3	9,867	1.3	9,815	1.3				
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	21,338		20,333		20,982		11,270			
前年度比	—		95.3%		103.2%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林道維持管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林道維持管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市で管理する林道の安全確保のため、維持管理を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市管理林道 92路線、延長 275,482m

- 林道管理委託
巡回、路面清掃、側溝清掃、除草、除雪 等 1式
- 林道維持工事
舗装補修、路盤維持、法面・路肩補修等工事 1式
災害復旧工事(単独) 4件

<現状に対する認識>

観光、生活利用される林道もあり、安全管理に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	車両事故発生件数				
指標の設定理由	交通車両の安全確保が最大の目的であるため。				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度	100%	100%	100%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	35,911		49,380		49,620		47,010			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,911		49,380		49,620		47,010			
② 人件費(千円)	2,307	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	38,218		53,175		53,395		47,010			
前年度比	—		139.1%		100.4%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業振興
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

森林資源の有効利用を行うことにより、地球温暖化の抑制や二酸化炭素削減を図り、木材利用の拡大を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ペレットストーブ購入事業補助金
ペレットストーブ購入者に対して本体価格の1/2を補助するもの。
(上限100千円)
- 薪ストーブ購入事業補助金
薪ストーブ購入者に対して本体価格の1/2を補助するもの。
(上限100千円)

<現状に対する認識>

林地残材等の未利用材の有効活用を促進するため、ペレット、薪ストーブに助成し、地域資源の有価値化を図っていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	目標台数(ペレットストーブ)				
指標の設定理由	ストーブ設置台数を把握し、木材利用の拡大を図る。				
目標値	70	77	84	96	108
実績値	70	77	84		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	目標台数(薪ストーブ)				
指標の設定理由	ストーブ設置台数を把握し、木材利用の拡大を図る。				
目標値		10	40	70	100
実績値		10	37		
達成度	#DIV/0!	100.0%	92.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	700		1,683		3,700		4,200			
国・県	700		683		525		900			
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		1,000		3,175		3,300			
② 人件費(千円)	2,307	人工	3,541	人工	3,870	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託	0		2,023	0.7	2,360	0.8				
合計コスト①+②	3,007		5,224		7,570		4,200			
前年度比	—		173.7%		144.9%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助林道整備事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助林道整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

4~34

森林の整備・管理の効率化に不可欠であり、路線により生活道路・観光道路としても利用される、林道網の整備を計画的に行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

開設工事(1路線) 高遠線 L= 67m
改良工事(2路線) 美ヶ原線 L= 68m(2工区計) 湯ノ原線 L= 55m

<現状に対する認識>

国県の補助制度を活用し、計画的に整備を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	林道開設延長(m)				
指標の設定理由	林道は森林整備の基幹インフラであるため。				
目標値	173	195	189	140	370
実績値	211	79	67		
達成度	122.0%	40.5%	35.4%		
② 成果指標(指標名)	林道改良延長(m)				
指標の設定理由	林道は森林整備の基幹インフラであるため。				
目標値	361	400	285	192	125
実績値	407	369	123		
達成度	112.7%	92.3%	43.2%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	55,112		49,248		52,297		58,190			
国・県	19,837		21,226		22,690		29,480			
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,275		28,022		29,607		28,710			
② 人件費(千円)	11,535	人工	11,385	人工	11,325	人工		人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,325	1.5				
嘱託										
合計コスト①+②	66,647		60,633		63,622		58,190		0	
前年度比	—		91.0%		104.9%		91.5%		0.0%	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

林業振興に資する団体への負担金の拠出

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

※県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会ほか4団体への負担金

- 1 県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会
- 2 野俣林道愛護会
- 3 長野県特用林産物振興会
- 4 朝日地区林野警備連合会
- 5 長野県造林協会

<現状に対する認識>

それぞれの団体により、林業の振興や森林保全の取り組みが図られている。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,740		2,501		2,730		2,640			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,740		2,501		2,730		3,640			
② 人件費(千円)	1,538	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	4,278		3,260		3,485		2,640			
前年度比	—		76.2%		106.9%		75.8%			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	JKタウン和田西原販売促進事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	311	地域づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	JKタウン和田西原販売促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H22 ~ H30

県営ほ場整備事業「和田西原地区」において、優良農地の保全とともに生活環境基盤の一体的整備による田園居住環境の整備を目指して創設された、非農用地を長野県住宅供給公社が開発・分譲した住宅団地の販売促進を、協定に基づき推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 報奨金制度
和田西原住宅団地の販売促進と定住促進のため、購入者を紹介した者に対して報奨金を支払うもの
- 維持管理費
土壌侵食防止林の維持管理に係る費用
- 販売促進事業
長野県住宅供給公社の行う広告宣伝の費用を負担するもの

<現状に対する認識>

・平成29年4月に長野県住宅供給公社との変更の協定により、分譲単価の値下げと販売計画期間を5年間延長した結果、29年度においては、販売戸数が目標を大きく上回った。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	販売区画数				
指標の設定理由	事業の成果が直接図れる数値のため				
目標値	17	16	7		
実績値	3	26	7		
達成度	17.6%	162.5%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,956		27,269		18,310					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,956		27,269		18,310					
② 人件費(千円)	2,034	人工	2,017	人工	1,805	人工		人工		人工
正規	1,692	0.22	1,670	0.22	1,510	0.2				
嘱託	342	0.12	347	0.12	295	0.1				
合計コスト①+②	8,990		29,286		20,115					
前年度比	—		325.8%		68.7%					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	多面的機能支払交付金事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	多面的機能支払交付金事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H19～

地域が共同で農地・水路等施設の維持管理、農村環境の向上に関する取組み及び農業施設等の長寿命化への取組みを行い地域の農業振興に努めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者等が共同して取組む地域活動や、地域資源(農地・水路・農道等)の質的向上に資する活動に対して支援するもの。

- 農地維持支払
農地・水路・の法面の草刈り、泥上げ等の地域資源の保全・管理活動への支援
田3,000円、畑2,000円、草地240円(10a当り)
- 資源向上支払(共同活動)
水路・農道等の軽微な補修や植栽などの環境保全活動への支援
田2,400円、畑1,440円、草地240円(10a当り)
- 資源向上支払(長寿命化)
老朽化した水路・農道などの施設の補修・更新への支援
田4,400円、畑2,000円、草地400円(10a当り)
- 事業区域 旧市、四賀地区
- 負担割合 国50%、県25%、市25%

<現状に対する認識>

- 活動組織にとっては、高度な事務処理能力が求められており、事務処理人員の確保にも苦慮している組織がある。
- 事務処理者の確保対策として、集落単位の組織から、広域組織への移行の検討を要している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	取組目標面積(ha)				
指標の設定理由	取組面積の事業の成果が直接図れる数値のため				
目標値	2,500	2,832	2,839	2,847	2,854
実績値	2,505	3,037	3,006		
達成度	100.2%	107.2%	105.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	179,720		202,344		170,873		230,020			
国・県	134,790		151,885		128,287		213,130			
利用者負担金										
その他										
一般財源	44,930		50,458		42,585		16,890			
② 人件費(千円)	8,258	人工	21,803	人工	24,425	人工		人工		人工
正規	5,921	0.77	17,381	2.29	21,593	2.86				
嘱託	2,337	0.82	4,422	1.53	2,832	0.96				
合計コスト①+②	187,978		224,147		195,298		230,020			
前年度比	—		119.2%		87.1%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独耕地事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独耕地事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

老朽化した農業用施設等の整備を行い、安定した用水確保及び維持管理の軽減を図ることにより農業経営を向上させるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市単土地改良事業
土地改良区、農業協同組合、水利組合等団体が行う土地改良事業に要する経費に対し、補助金を交付
- 市単独耕地事業
農道、用排水路等松本市が維持管理する農業用施設等の補修に対する費用
- 原材料費
土地改良区、農業協同組合、水利組合等団体が行う軽微な補修に必要な原材料を支給するもの

<現状に対する認識>

安定した用水確保及び維持管理の軽減を図り農業経営の安定化、付加価値の高い農産物の生産、供給に寄与する

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	62,263		61,467		73,275		64,900			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	62,263		61,467		75,275		64,900			
② 人件費(千円)	15,600	人工	11,619	人工	14,093	人工		人工		人工
正規	14,688	1.91	9,943	1.31	12,382	1.64				
嘱託	912	0.32	1,676	0.58	1,711	0.58				
合計コスト①+②	77,863		73,086		87,368		64,900			
前年度比	—		93.9%		119.5%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	県営土地改良事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県営土地改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

老朽化した農業用施設等の整備を行い、安定した用水確保及び維持管理の軽減を図ることにより農業経営を向上させるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- かんがい排水事業(国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%)
長野県が実施する老朽化した、農業用水路改修事業の費用を負担するもの
- 畑地帯総合整備事業(国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%)
畑地帯における担い手支援の強化を図るため、総合的に老朽化した施設の改修を行い、農業生産基盤を総合的に整備するもの
- 特定農業用管水路等特別対策事業(国55%、県35%、市5%、地元5%)
畑地帯における担い手支援の強化を図るため、また、防災減災から幹線である老朽化した施設の改修を行い、農業生産基盤を総合的に整備するもの
- 農村地域防災減災事業(国55%、県34%、市11%)
H24・25年度の農業用ため池堤体耐震調査の結果、耐震性に問題のあるため池の改修整備を行い、防災・減災対策を図るもの
- 補助金
県営土地改良事業実施に伴う計画概要書策定業務に対する補助金
- 委託料
農村地域防災減災事業で行うため、池改修工の事業計画書作成をおこなうもの

<現状に対する認識>

- 農業に不可欠な農業用水を安定的に供給するため、老朽化した農業水利施設等の計画的な補修・更新が急務となっている
- 事業完了年度を設定しているが、国の事業費予算配分に伴い完了年度の延長もありうる

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	39,850		17,117		45,300		64,620			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	39,850		17,117		45,300		64,620			
② 人件費(千円)	2,461	人工	3,416	人工	3,549	人工		人工		人工
正規	2,461	0.32	3,416	0.45	3,549	0.47				
嘱託										
合計コスト①+②	42,311		20,533		48,849		64,620			
前年度比	—		48.5%		237.9%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	土地改良施設維持管理適正化事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

土地改良施設(農業用水利施設等)を改修し農業生産基盤及び農村生活環境の整備改善を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 内容
国の採択を受けて、土地改良区が計画的に実施する土地改良事業の経費に対して補助金を交付。
- 補助率
事業費の1/5

<現状に対する認識>

土地改良施設の維持管理費の負担軽減を図るため、継続した支援が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,840		7,834		7,570		9,010			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,840		7,834		7,570		9,010			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	7,609		8,593		8,325		9,010			
前年度比	—		112.9%		96.9%		—			

事務事業評価票

事務事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業
-------	------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業費

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約		
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承		5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度	H22 ~ H34
--------	-----------

国営事業等で整備した農業水利施設が持つ多面的機能を継続的に発揮させるため、施設の管理体制を整備するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業主体	中信平土地改良区連合
2 事業内容	農業水利施設の維持管理費のうち、多面的機能分を補助
3 補助率及び負担区分	10/10(国50%、県10%、市40%)

<現状に対する認識>

施設の維持管理に係る農業者の負担軽減を図る。
国の補助事業を活用し、維持管理費を補助する。

<指標の達成状況>

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	対象となる農業用水利施設(頭首工数)				
指標の設定理由	農業水利施設が持つ多面的機能を継続的に発揮させるため				
目標値	1	1	1		
実績値	1	1	1		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	対象となる農業用水利施設(用水路延長)				
指標の設定理由	農業水利施設が持つ多面的機能を継続的に発揮させるため				
目標値	136	136	136		
実績値	136	136	136		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	15,847		12,428		12,504		15,840			
国・県	9,508		7,457		7,501		9,500			
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,339		4,971		5,003		6,340			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	16,616		13,187		13,259		15,840			
前年度比	—		79.4%		100.5%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	団体営土地改良事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標		魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)		産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承		5つの重点目標	
	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	団体営土地改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

戦略作物、地域振興作物の生産拡大及び農地集積化や農業の高付加価値等によって、農業の競争力と体質を強化することを目的に基盤整備を迅速かつ、きめ細やかに対応していくもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 農地耕作条件改善事業

(1) 事業主体 松本市、改良区等

(2) 負担割合 事業主体(市) 国50%, 県1%, 市49.0%

事業主体(改良区) 国50%, 県1%, 市24.5%, 地元24.5%

(3) 事業の種類 農業用排水施設、暗渠排水、土層改良、ため池の耐震対策、

農道、農用地の保全

<現状に対する認識>

土地改良区等を中心に受益者とともに、農業水利施設等を効率的に維持管理していくため、計画的な整備・更新が必要となってきた。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,110		1,760		600		980			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,110		1,760		600		980			
② 人件費(千円)	738	人工	734	人工	584	人工		人工		人工
正規	538	0.07	531	0.07	377.5	0.05				
嘱託	200	0.07	202	0.07	206.5	0.07				
合計コスト①+②	7,848		2,494		1,184		980			
前年度比	—		31.8%		47.5%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	一般管理(農集排)
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	農業集落排水事業特別会計
予算中事業名	一般管理費(農集排)

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農業集落排水処理施設の機能を維持し、農業用水の水質保全を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

農業集落排水事業に係る一般管理。

<現状に対する認識>

農業集落排水事業を実施するうえで必要な諸経費。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,697		3,296		3,314		3,420			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,697		3,296		3,314		3,420			
② 人件費(千円)	3,418	人工	3,383	人工	3,374	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	342	0.12	347	0.12	354	0.12				
合計コスト①+②	7,115		6,679		6,688		3,420			
前年度比	—		93.9%		100.1%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(耕地林務課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金(耕地林務課)

<事業の狙い>

事業計画年度

～

土地改良事業を推進するため、農業・農村振興に資する団体へ負担金を拠出するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

※県土地改良事業団体連合会、林地地すべり対策協議会への負担金分

- 1 長野県土地改良事業団体連合会
- 2 松本耕地地すべり対策協議会

<現状に対する認識>

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	67		69		36		40			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	67		69		36		40			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	836		828		791		40			
前年度比	—		99.0%		95.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	寿赤木地区維持管理
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	農業集落排水事業特別会計
予算中事業名	寿赤木地区維持管理費

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	432	下水道整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～ H30
--------	-------

農村の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

農業集落排水処理施設の維持管理全般。

<現状に対する認識>

施設は平成元年に供用開始のため、施設の老朽化が進んでいる。このため、平成31年度に公共下水道両島処理区へ統合する予定。

<指標の達成状況>

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	農業集落排水処理施設使用戸数				
指標の設定理由	使用料収入の確保				
目標値	142	142	142	-	-
実績値	143	143	144		
達成度	100.7%	100.7%	101.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,094		5,613		4,879		350			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,094		5,613		4,879		350			
② 人件費(千円)	3,447	人工	3,036	人工	3,020	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	371	0.13								
合計コスト①+②	8,541		8,649		7,899		350			
前年度比	-		101.3%		91.3%		-			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	寿赤木地区下水道建設
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	農業集落排水事業特別会計
予算中事業名	寿赤木地区下水道建設費

<事業の狙い>

事業計画年度

H25 ~ H30

農業集落排水の管渠を公共下水道に接続し、生活排水の適正な処理を行うとともに、維持管理の効率化と受益者負担の軽減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内容	農業集落排水処理施設から近接する公共下水道へ接続するための管渠の整備。
2 新設管渠総延長	91.5m

<現状に対する認識>

寿赤木地区の農業集落排水施設は、施設が老朽化し、今後污水処理施設等の大規模改修が必要となっている。そこで、新たな費用負担を抑制し、効率的に管理運営するため、公共下水道に接続するもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公共下水道への接続				
指標の設定理由	平成31年度に公共下水道へ接続完了する				
目標値	-	-	-	接続	
実績値	-	-	-		
達成度	-	-	-		
② 成果指標(指標名)	管渠新設延長(m)				
指標の設定理由	平成31年度に公共下水道へ接続完了する				
目標値	250	315	83		
実績値	324	91	91		
達成度	129.6%	28.9%	109.6%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	98,412		9,212		12,819		0			
国・県	49,200		4,600		6,400		0			
利用者負担金										
その他	49,200		4,600		6,400					
一般財源	12		12		19		0			
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託										
合計コスト①+②	101,488		12,248		15,839		0			
前年度比	-		12.1%		129.3%		-			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	カラマツ材販路拡大事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み	○地域産材需要の掘り起こし	
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略	③松本産品のブランド化	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	カラマツ材販路拡大事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

28~32

市内の民有林の3割を占める主要樹種であるカラマツが伐期を迎えているが、主な用途は合板材料となっている。このカラマツ材の用途を拡大し、生産量を増やし、有用な地域資源として、地域の林業振興を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 第3回信州バザール出展(10月20日、21日)
市内木工作家によるカラマツ家具の展示
- カラマツ材住宅補助金制度の創設
住宅建築へのカラマツ利用を促進するため、県産カラマツ材を20万円以上使用した木造住宅の新築、リフォームに対し補助金を交付(1件 10万円)

<現状に対する認識>

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	カラマツ材住宅補助金の支給件数(H30~)				
指標の設定理由	市民に直接補助金を支給する事業であるため。				
目標値		-	20	10	10
実績値		0	7		
達成度		-	35.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,664		748		700		1,030			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,664		748		700		1,030			
② 人件費(千円)	2,307		2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	8,971		3,025		2,965		1,030			
前年度比	-		33.7%		98.0%		-			

西部農林課

課長 二木 昭彦

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	健康生きがい市民農園事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	健康生きがい市民農園事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

17~

農作物の栽培を通じて、市民相互の親睦、農作業に対する理解を深め、健康増進と収穫による消費生活安定を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容
 特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律の規定に基づき、市が行う農地貸付の実施及び管理運営を行うもの

(1) 梓川やまと農園(梓川倭415) 17区画 (H30実績 利用区画数17)
 50㎡区画 3,000円/年額 75㎡区画 4,500円/年額

(2) 波田ふれあい農園
 ・波多農園(波田10067-1)18区画 (H30実績 利用区画数17)
 75㎡区画 2,800円/年額
 ・町道農園(波田7074-1.2)29区画(うち1区画休耕)
 (H30実績 利用区画数28)
 75㎡区画 2,800円/年額
 ・島農園(波田2305-1)28区画 (H30実績 利用区画数28)
 75㎡区画 2,800円/年額

<現状に対する認識>

空き区画があることから、引続き市民へ積極的な利用の周知を図る必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用区画数(区)				
指標の設定理由	利用区画数により市民が農業に対する関心状況を把握できるため				
目標値	91	91	91	91	91
実績値	89	89	90		
達成度	97.8%	97.8%	98.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	125		131		128		160			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	125		131		128		160			
② 人件費(千円)	570	人工	380	人工	385	人工		人工		人工
正規			380	0.05	385	0.05				
嘱託	570	0.2								
合計コスト①+②	695		511		513		160			
前年度比	—		73.5%		100.4%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農村公園管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農村公園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農村地域のコミュニティづくりを通じて地域農業の振興を図るため、農村公園の維持管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容	農村公園の日常維持管理及び遊具等の改修を行なうもの
2 農村公園	奈川地区 1公園 梓川地区 5公園 波田地区 1公園
3 活動実績	・遊具の日常点検、園内清掃及び樹木の剪定等 地元町会、シルバー人材センター等へ業務委託 7公園 ・公園遊具改修 複合遊具改修他 上大妻農村公園 ・公園施設修繕 照明施設等修繕 下角農村公園、立田農村公園

<現状に対する認識>

引き続き農村公園の維持管理等を行い、地域農業の振興に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事故発生件数				
指標の設定理由	適正な維持管理状況を表すため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,320		2,234		1,980		2,580			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,320		2,234		1,760		2,580			
② 人件費(千円)	615	人工	607	人工	615	人工		人工		人工
正規	615	0.08	607	0.08	615	0.08				
嘱託										
合計コスト①+②	2,935		2,841		2,595		2,580			
前年度比	—		96.8%		91.3%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	中山間地域等直接支払推進事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	中山間地域等直接支払推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

27～

中山間地域等における農業生産活動の維持を通じ、耕作放棄地発生防止、多面的機能を確保するとともに、平地地域との農業生産条件の均整を直接的に補正するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

中山間地域等直接支払交付金(国庫事業)【西部地区:奈川、波田地区】

1 事業内容
中山間地域等における耕作放棄地の発生防止と、多面的機能を確保するため、集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等の活動に対して交付金を支給するもの

2 補助内容
集落協定に位置づけられている農用地について、地目及び区分毎の交付金単価に対象面積を乗じる。
(1) 奈川地区協定集落 5集落(神谷、金原、黒川渡、古宿、田ノ萱地区)
交付申請面積 363,075㎡ 交付金額 5,453,868円
(2) 波田地区協定集落 1集落(中下原地区)
交付申請面積 21,240㎡ 交付金額 446,040円

<現状に対する認識>

各集落の耕作放棄地の発生が防止されている。また、水路や法面、農道など多面的機能も協定に基づく活動により確保されている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	中山間地域等直接支払交付金集落協定数				
指標の設定理由	集落の農地の維持を把握することができるため				
目標値	6	6	6	6	6
実績値	6	6	6		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,998		5,999		5,989		5,990			
国・県	4,388		4,388		4,388		4,388			
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,610		1,611		1,601		1,602			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,307	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	8,305		8,276		8,296		5,990			
前年度比	—		99.7%		100.2%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	西部地区農業振興関連施設管理
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	西部地区農業振興関連施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

25 ~

- ・地場産業の振興と、地域の活性化を図る。
- ・農林業に従事する者の福祉の増進と、交流の促進を図る。
- ・市民福祉の増進と文化の向上を図る。
- ・地域に関する情報の発信と経済の活性化を図る。
- ・市民の交流促進と特産物の開発を通じ、農林業及び地域の活性化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 事業の内容
- 西部地区の農業関連施設の維持管理をするもの
- (1) 安曇番所農産物加工販売施設(そば処いがや)
 - (2) 安曇島々農産物加工販売施設
 - (3) 安曇屋内交流広場(ゲートボール場)
 - (4) 安曇後継者集会施設
 - (5) 安曇稲核農産物加工販売施設
 - (6) 安曇風穴の里
 - (7) グレンパークさわんど
 - (8) ながわ山彩館
 - (9) 新規就農者技術習得管理施設
 - (10) 梓川麦・大豆等加工施設(味来せんたあ) H30取壊し済
 - (11) 梓川農産物処理加工施設(ジュース加工施設) H30譲渡
 - (12) 梓川水田農産物処理加工施設(あずさ夢工房)
 - (13) 梓川地場産品直売センター
 - (14) 波田農産物加工販売施設(味工房はた)

<現状に対する認識>

西部地区には合併前に建設された施設が複数設置されていることから、松本市公共施設等総合管理計画、松本市公共施設再配置計画の方針に基づき「施設のあり方」について引き続き検討する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ながわ山彩館利用者数				
指標の設定理由	利用者数により交流状況が把握できるため				
目標値	1,300	1,300	1,300	800	800
実績値	1,742	1,516	1,479		
達成度	134.0%	116.6%	113.8%		
② 成果指標(指標名)	梓川水田農産物処理加工施設【あずさ夢工房】利用者数				
指標の設定理由	利用者数により交流状況が把握できるため				
目標値	200	200	200	200	200
実績値	165	168	162		
達成度	82.5%	84.0%	81.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	43,304		48,753		22,776		13,460			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	43,304		48,753		22,799		13,460			
② 人件費(千円)	16,805	人工	18,975	人工	15,380	人工		人工		人工
正規	15,380	2	18,975	2.5	15,380	2				
嘱託	1,425	0.5								
合計コスト①+②	60,109		67,728		38,156		13,460			
前年度比	—		112.7%		56.3%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農畜産物マーケティング推進事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	市長公約	主な取組み	○	松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
—	—	—	松本版総合戦略	③	松本産品のブランド化	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農畜産物マーケティング推進事業

<事業の狙い>

事業計画年度

27~31

地域の魅力ある地元産食材のブランド化を図り、生産・販売拡大等により地区の農業振興と地域振興を推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 奈川産食材ブランド化推進事業

(1) 実施内容

- ア 奈川在来そば、エゴマのPRイベントの開催などによる消費拡大
- イ 奈川そばの生産拡大に向けた栽培技術の調査研究
- ウ 奈川地区の食材を柱とした商品開発と高齢者の生きがいづくり

(2) 活動指標

奈川在来そばの作付け面積1,300アール(H30実績1,170アール)

2 特産品ブランド化推進事業

(1) 実施内容

- 「奈川保平かぶ」「安曇稲核菜」「安曇番所きゅうり」のブランド化の推進
- ア 専門家の指導による種子の系統選抜、栽培技術の研修
- イ うま味成分の分析・機能性成分検査結果による優位性のPRの実施
- ウ 商品開発による消費拡大
- エ 地元観光営業施設、飲食店への食材提供のための商談会の実施

(2) 活動指標

伝統野菜の作付け面積の拡大 348アール(H30実績125アール)

<現状に対する認識>

- 1 全国的に知名度を高めるため、「とうじそば」をはじめとする奈川産食材・食文化を地元の風土・文化と結びつけ、イメージアップを図り販売を促進する必要がある。
- 2 地元産地内の観光営業施設、近接する白骨温泉・上高地の施設においても提供されるよう努める。
- 3 伝統野菜の作付け面積を増やす取り組みを、積極的に図る必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	奈川在来そばの作付け面積(単位:アール)				
指標の設定理由	奈川在来そばの生産拡大の目安とするため、作付け面積を指標とした				
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	
実績値	870	1,140	1,170		
達成度	66.9%	87.7%	90.0%		
② 成果指標(指標名)	伝統野菜の作付け面積(単位:アール)				
指標の設定理由	伝統野菜の生産(伝承)促進の目安とするため、作付け面積を指標とした				
目標値	348	348	348	348	
実績値	248	190	125		
達成度	71.3%	54.6%	35.9%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,190		8,282		6,010		4,570			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,190		8,282		6,010		4,570			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,307	人工		人工	0	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	11,497		10,559		8,317		4,570			
前年度比	—		91.8%		78.8%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	クラインガルテン関連施設管理
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み			○新たな観光戦略の策定と政策展開
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		②	高次広範の観光戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	クラインガルテン関連施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

27~32

農業後継者不足による遊休農地の有効活用と豊かな自然、風土を守り、都市と農村の交流を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容
(1) 指定管理者制度による管理運営
ア 奈川地域内にある大原、神谷、入山の3箇所のクラインガルテンを3地区合同の指定管理者により管理運営している。
イ 指定管理者をとおして、利用者への農業指導と地域で行われる行事への参加を促し、地域住民と利用者との交流を図っている。
(2) 指定管理料
7,995千円
(3) 指定期間
平成30年度~平成32年度
(4) 施設概要
大原クラインガルテン 35棟
神谷クラインガルテン 18棟
入山クラインガルテン 7棟 合計 60棟
2 活動指標
指定管理者のイベント実施数 (H30年度実績24回)

<現状に対する認識>

- H30年度から指定管理者を1団体で、管理運営しています。効率的、合理的な運営形態への推進を図りながらも、3地区の独自性が失われないための活動を継続するよう指導している。
- 施設の利用率をさらに高めるよう、利用者の満足度向上のため、参加しやすくなるような、魅力あるイベント開催など交流事業の実施について、継続的に実施されるよう、指定管理者と調整を図っていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	イベント実施回数				
指標の設定理由	イベントの実施回数により地域交流の状況が把握できるため				
目標値	24	24	24	24	24
実績値	24	24	24		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	15,876		13,680		17,869		18,070			
国・県										
利用者負担金										
その他	2,236		2,265		2,167		3,280			
一般財源	13,640		11,415		15,702		14,790			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,538	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,538	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	17,414		15,198		19,407		18,070			
前年度比	—		87.3%		127.7%		—			

事務事業評価票

事務事業名	農業者育成事業
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農業者育成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	25 ～
新規就農者や認定農業者及び地域の団体等を支援することで、農業者育成を図る。また、耕作放棄地化を未然に防止することや、女性の農業への積極的な進出を促進するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 農業者の育成を支援するもの
(1) 新規就農者等支援事業補助金(補助率1/2以内 上限500千円) 経営が不安定な新規就農者に機械等の取得を支援し、新規就農者の育成を図る。(H30実績 1件 事業費 1,500千円 補助金額 500千円)
(2) 未来を担う農業経営者支援事業(補助率1/3以内 上限2,000千円) 意欲ある農業の担い手を育成するため、経営規模拡大や効率的な経営を目指す認定農業者に対して農業機械等のリース、取得及び修繕費用の一部を補助するもの。 (H30実績 17件 事業費 27,071千円 補助金額 9,297千円)
(3) 経営体育成支援事業補助金(補助率3/10もしくは、融資額のうちいずれか少ない額) 地域の中心となる経営体が融資を受けて導入する機械施設等の整備に要する経費に助成する国庫補助事業
(4) 農業後継者組織育成強化事業補助金 (交付団体名: 梓川農業青年会議 17人) 農業の社会的・経済的地位の向上と地域農業を活性化させるため、技術の研究、農業環境の改善等に取り組んでいる。 (H30実績 決算額 190千円)
(5) 梓川女性フォーラム補助金(交付団体名: 梓川女性団体連絡協議会) 心豊かな農村地域づくりと女性の社会参画について考え、活力ある地域づくりに貢献するもの(H30実績 来場者数 約130人 決算額 120千円)

＜現状に対する認識＞

今後も認定農業者等への積極的な支援を推進するとともに、将来の担い手として期待される女性農業者への支援を拡充する必要がある。

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	#REF!
-----	-----	----	-------	-----	-------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み		○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略	④	新しい働き方・雇用の創出

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	認定農業者数(人)				
指標の設定理由	経営意欲のある中核的な農業経営者数を把握することができる				
目標値	510	515	520	525	530
実績値	491	511	523		
達成度	96.3%	99.2%	100.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	11,619	14,117	10,107	14,410				
国・県		3,000						
利用者負担金								
その他								
一般財源	11,619	11,117	10,607	14,410				
② 人件費(千円)	3,219	人工	3,036	人工	3,076	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,076	0.4		
嘱託	143	0.05						
合計コスト①+②	14,838	17,153	13,183	14,410				
前年度比	—	115.6%	76.9%	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	遊休荒廃農地対策事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	遊休荒廃農地対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

17~

- 遊休荒廃農地対策事業補助金
国の補助対象(農業振興地域内の農用地区域等(青地))以外の耕作放棄地の解消作業を行い、農地として再活用する者に対し補助金を交付するもの
- 農業生産振興事業補助金
国補助事業により再生作業を行うものに対し、補助を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 遊休荒廃農地対策事業補助金
耕作放棄地解消のために行う草木の伐採及び抜根、耕運、土壌改良剤の投与等の再生作業に要する経費に対し、3,500円/a~7,000円/aの範囲で補助を行うもの
- 農業生産振興事業補助金
国補助事業経費の1/10を上乗せ補助するもの

<現状に対する認識>

平成30年度において国事業のリニューアル、令和元年度より国事業廃止にともない、今後市事業の実施が増加する事が予想される。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	荒廃農地解消面積(a)				
指標の設定理由	荒廃農地が解消され農地の有効利用が促進されるため				
目標値	80	80	80	80	80
実績値	41	110	0		
達成度	51.3%	137.5%	0.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	246		660		0		380			
国・県	205		550		0					
利用者負担金										
その他										
一般財源	41		110		0		380			
② 人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工	2,592	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3				
嘱託	285	0.1	289	0.1	285	0.1				
合計コスト①+②	2,838		3,226		2,592		380			
前年度比	—		113.7%		80.3%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域営農システム推進事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地域営農システム推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

17~

組織への支援を通じて、意欲ある農業者が安心・安全な食料生産、住みよい環境づくり、地域の農業の振興を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

梓川営農支援センター事業【梓川地区】

1 事業内容
梓川地区の農業振興を図るため、組織に対して助成するもの
構成団体 JA他12団体 構成員 55人 地区農家組合数 19組織

2 活動指標
(1) 取り組み体制の充実
(2) 担い手の育成、集落営農の取組み
(3) 農業基本構想、水田農業ビジョンに沿った実践活動
(4) 優良農地保全と有効利用の促進
(5) 環境に優しい農業の推進と農村環境の整備運動
(6) 農産物の付加価値向上、地域農産物のPRと地域交流の促進

3 負担金
2,630千円

<現状に対する認識>

全国的に農業関連組織が衰退する中、組織体制を充実させ地区農家組合活動を支援することで、地域農業の持続的展開を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	営農支援センター農家組合活動回数				
指標の設定理由	活動回数により取り組み状況が把握できるため				
目標値	285	285	285	285	285
実績値	275	241	263		
達成度	96.5%	84.6%	92.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,630		2,630		2,630		2,630			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,630		2,630		2,630					
② 人件費(千円)	3,334	人工	3,360	人工	3,334	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1				
嘱託	2,565	0.9	2,601	0.9	2,565	0.9				
合計コスト①+②	5,964		5,990		5,964		2,630			
前年度比	—		100.4%		99.6%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農林業有害鳥獣対策事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農林業有害鳥獣対策事業

<事業の狙い>

事業計画年度

野生鳥獣の適正個体数調整を行い、農林業被害の抑制を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容
(1) 有害鳥獣駆除に伴う現場調査等業務
・通報によるクマ、サル、イノシシ等鳥獣被害現地調査及びパトロール
・通報によるサル等の追い払い
・クマ捕獲許可申請や学習放獣の立会い
・ワナ設置等に関する猟友会との調整
・関係支所への注意喚起放送の依頼
・猟友会員の免許更新に伴う証明書発行
・猟友会に貸与した罾の修繕
2 業務実績
・ツキノワグマ学習放獣 9件
・猟友会証明書発行 22件

平成30年は4年に1度のツキノワグマ多発の年との予測であったが、例年並みの発生状況であった。サルについては有効な捕獲手段が無く苦慮しており地元や猟友会と協力して効率的な捕獲方法を研究していく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	西部地区のクマによる人身被害発生件数				
指標の設定理由	人身被害の発生件数が活動成果の一部を表すと考えられるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	2	1	0		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	28		29		54		160			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	28		29		54		160			
② 人件費(千円)	1,923	人工	1,898	人工	1,923	人工		人工		人工
正規	1,923	0.25	1,898	0.25	1,923	0.25				
嘱託										
合計コスト①+②	1,951		1,927		1,977		160			
前年度比	—		98.8%		102.6%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	森林造成事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	森林造成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市有林の整備を行うとともに、林業事業者が実施する森林造成事業に対して補助金等を交付するなど、森林機能の維持向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 森林造成事業 第7次松本市森林整備計画に基づき、10年間で4,400haの間伐を実施 (1) 市有林造成事業を委託 (国庫補助事業 補助率 国 40%、県30%) (2) 私有林の整備に関する嵩上げ補助を実施 補助対象事業費の30%以内
2 その他 森林の里親事業補助業務の委託(消耗品購入含む)並びに事業内容の調整 及び当日作業(森林整備・都市との交流)
3 活動実績 市有林間伐等業務委託 11.1ha 森の里親業務委託 嵩上げ補助 1件(奈川地区 6.1ha)

<現状に対する認識>

森林簿データで計画を策定しているが、生育状況により、間伐対象とならないケースがあり、計画と実績が乖離してしまうケースがある。事前の正確な現地把握が課題。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市有林造成面積(ha)				
指標の設定理由	市有林造成面積が事業の進捗状況を表すため				
目標値	0.1	12.8	13.4	13.6	18
実績値	0.1	5	11.1		
達成度	100.0%	39.1%	82.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	35,684		13,390		22,777		23,130			
国・県	1,725		9,317		7,144		5,760			
利用者負担金										
その他					8,344		2,230			
一般財源	33,959		4,073		7,289		15,140			
② 人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,383	人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,383	0.7				
嘱託										
合計コスト①+②	41,067		18,703		28,160		23,130			
前年度比	—		45.5%		150.6%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(西部農林課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

波田植木まつり：波田地区の特産品のPRと緑化・花いっぱい推進を図るもの
 中信地区水源林造林協議会：水源林事業の円滑な推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 波田植木まつり
 波田地区のPRと緑化・花いっぱいの推進を目的に行なわれる事業に対して、苗木無料配布費用相当分を負担するもの。
 負担金 80,000円(苗木 200本相当)
 (1) 主催 波田植木まつり実行委員会
 (2) 共催 松本市波田商工会工業部会庭園緑化部、松本市波田観光協会
 (3) 協賛 恋人の丘サラダマーケット、味工房はた
 (4) 開催時期 5月下旬の土日(2日間)

2 中信地区水源林造林協議会
 負担金 26,400円
 中信地区内の(独)森林総合研究所農地整備センターと分収造林契約を結んだ市町村、財産区等で構成される組織であり、会員及び関係機関との連絡や中央要望等を行い水源林造林事業の推進を図るもの。

<現状に対する認識>

波田植木まつり
 来場者から一定の良い評価を得ており、引き続き支援を行なっていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	波田植木まつり来場者数				
指標の設定理由	来場者数により活動状況が把握できるため				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,500	1,000	980		
達成度	150.0%	100.0%	98.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	106		106		110		120			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	106		106		110		120			
② 人件費(千円)	77	人工	76	人工	76.9	人工		人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01	76.9	0.01				
嘱託										
合計コスト①+②	183		182		187		120			
前年度比	—		99.5%		102.7%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業施設管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

林業関連施設の適切な維持管理を行い、利用者の利便性向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 林業施設の管理
 - 黒川林道通行管理
林道ゲートの鍵の貸出し管理を民間に委託し適正な通行管理を行なうもの
 - 奈川林業者研修宿泊施設の維持管理
浄化槽及び建物の定期点検委託等
(施設概要)
宿泊施設 2棟 (単身用2戸、世帯用3戸)
集会施設 1棟
- 活動実績
黒川林道鍵貸出し件数 258件

<現状に対する認識>

林業者研修宿泊施設は、近年の道路網の整備や林業従事者の減少等により入居者が減少している状況にある。
 今後は、長野県の「森林づくり県民税活用事業」などの各種施策により、林業の振興も期待されるが、利用状況の低迷が続くようであれば、施設のあり方を検討する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	林道ゲート鍵貸し出し件数				
指標の設定理由	利活用状況が把握できるため				
目標値	250	250	250	250	250
実績値	325	258	258		
達成度	130.0%	103.2%	103.2%		
② 成果指標(指標名)	林業者研修宿泊施設への入居戸数				
指標の設定理由	利活用状況が把握できるため				
目標値	5	5	5	5	5
実績値	1	1	0		
達成度	20.0%	20.0%	0.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	183	6,233	190	210	
国・県					
利用者負担金					
その他	144	84	0	140	
一般財源	39	6,149	190	70	
② 人件費(千円)	77	人工 1,594	人工 77	人工	人工
正規	77	0.01 1,594	0.21 77	0.01	
嘱託					
合計コスト①+②	260	7,827	267	210	
前年度比	—	3011.5%	3.4%	—	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林道維持管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林道維持管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安全な道路状態を確保するため、林道の補修及び整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 林道維持管理事業
林道の維持管理を行い、通行の安全を確保するもの
- 業務内容
 - 林道維持管理業務
 - 林道奈川安曇線(AB線)の維持管理業務委託
 - A線冬期閉鎖解除に伴う除雪清掃業務委託
 - 林道除草業務委託(奈川地区12路線、安曇地区4路線)
 - 奈川安曇線他10路線の補修整備工事

<現状に対する認識>

自然条件等による林道施設の老朽化、破損等が増加しているため、林道施設の適正な管理のため、引き続き各種整備を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事故発生件数				
指標の設定理由	適正な維持管理状況が把握できるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	39,023		32,505		32,537		41,090			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	39,023		32,505		32,554		41,090			
② 人件費(千円)	4,700	人工	3,882	人工	4,700	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,845	0.5				
嘱託	855	0.3	87	0.3	855	0.3				
合計コスト①+②	43,723		36,387		37,237		41,090			
前年度比	—		83.2%		102.3%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業振興事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

森林病害虫から森林を守り、森林環境の保全を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 業務の実施内容	松くい虫被害拡大防止のため、被害木のパトロール等を行うもの
2 業務内容	(1) アカマツ枯損木の確認パトロール (2) 枯損木の検体サンプルの収集及び県への検査依頼
3 活動実績	(1) パトロール実施 52回(概ね週1回) (2) 検体サンプル採取本数 17本 (3) 伐倒用チェーンソー購入 1基

<現状に対する認識>

松くい虫被害のまん延を防止するため引き続き事業を継続する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松くい虫被害拡大防止のためのパトロール実施回数 (回)				
指標の設定理由	監視活動の状況が把握できるため				
目標値	52	52	52	52	52
実績値	52	50	52		
達成度	100.0%	96.2%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	136		117		220		150			
国・県										
利用者負担金										
その他	90		80		80		90			
一般財源	46		37		140		60			
② 人件費(千円)	1,624	人工	1,626	人工	1,624	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1				
嘱託	855	0.3	867	0.3	855	0.3				
合計コスト①+②	1,760		1,743		1,844		150			
前年度比	—		99.0%		105.8%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	県単林道事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県単林道事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確保するため、林道奈川安曇線B線の整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 林道奈川安曇線(B)線改良事業
林道奈川安曇線(B線)の改良・舗装工事を行うもの
延長 L=6, 240m
- 財源
(1) 工事請負費: 県60%、過疎債40%
(2) 測量設計、監督補助委託: 過疎債100%
- H30事業実績
路肩改良工事 L=78m

<現状に対する認識>

補助事業で対応できない路肩整備や舗装補修等を行なっているが、県からの補助金額は定額である。
県では補助金の廃止も検討されており、今後の増額は望めないため、財源確保が課題

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	整備延長(m)				
指標の設定理由	整備延長により進捗状況が把握できるため				
目標値	80	60	74	50	50
実績値	67	32	78		
達成度	83.8%	53.3%	105.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,240		8,240		8,262		8,440			
国・県	4,617		4,617		4,617		4,610			
利用者負担金										
その他	3,600		3,600		3,600		3,800			
一般財源	23		23		45		30			
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,076	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,076	0.4				
嘱託										
合計コスト①+②	11,316		11,276		11,338		8,440			
前年度比	—		99.6%		100.5%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助林道整備事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助林道整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H17～

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確保するため、林道奈川安曇線の整備を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容及び事業実績

(1) 林道奈川安曇線改良事業

ア 事業実施内容
林道奈川安曇線の改良、舗装工事を行うもの。

イ 平成30年度事業実績
林道奈川安曇線A線 法面改良工事 L=62m

(2) 林道奈川安曇線トンネル延命化事業

ア 事業実施内容
老朽化している林道奈川安曇線B線の蛭窪トンネルの延命化工事を行うもの。

イ 平成30年度事業実績
空洞対策工事 L=125m(空洞裏込め注入は70m施工)

2 補助事業名 農産漁村地域整備交付金

3 財源

(1) 工事請負費:国50%、県1%、過疎債49%

(2) 測量設計、監督補助委託:過疎債100%

<現状に対する認識>

奈川地区から乗鞍高原、白骨温泉を結ぶ幹線林道であるが、落石や舗装面の痛みが多く施設も老朽化しているため、継続して整備を行う必要がある。H30年度は国庫補助の内示状況により、B線の整備が実施出来なかった。整備促進には財源確保が課題であり、平成31年度からはB線の舗装とトンネル空洞対策は、単独事業として過疎債を利用して整備する予定

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	林道整備延長 (m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	118	210	222	57	137
実績値	48	93	62		
達成度	40.7%	44.3%	27.9%		
② 成果指標(指標名)	トンネル調査・整備延長 (m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	573	285	125	151	115
実績値	573	573	125		
達成度	100.0%	201.1%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
① 事業費(千円)	36,709	46,278	99,274	139,750			
国・県	18,175	20,792	10,189	23,000			
利用者負担金							
その他	11,500	25,300	89,000	116,600			
一般財源	7,034	186	85	150			
② 人件費(千円)	7,690	人工	11,385	人工	11,535	人工	人工
正規	7,690	1	11,385	1.5	11,535	1.5	
嘱託							
合計コスト①+②	44,399	57,663	110,809	139,750			
前年度比	—	129.9%	192.2%	—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農産物生産振興対策事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農産物生産振興対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

17~32

- 1 奈川の特産品であるそばの振興を図る。
【事業完了】
- 2 JA松本ハイランドが行う波田ライスセンター乾燥調製施設整備事業により作業効率をアップさせ労働時間の短縮と利用面積の増加を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 奈川そばコンバイン等格納施設賃借料 262千円
(1) 事業内容
ア そば関係農機具、乾燥機等の保管・作業施設として利用し、そばによる地域振興を図る。
イ 機械化による高齢者等の作業負担の軽減・荒廃農地拡大の防止と復元を図る。
(2) 活動指標
そば栽培が可能な農地面積 40ha (H30年実績 31.9ha)
【事業完了】
- 2 強い農業づくり交付金事業(波田ライスセンター乾燥調製施設整備事業)
国庫補助(強い農業づくり交付金補助率1/2以内)
(1) 事業主体 松本ハイランド農業協同組合
(2) 事業内容 波田ライスセンターの乾燥機、色彩選別機等の改修
荷受施設(荷受2系列2ホッパー)、乾燥施設(乾燥機10t×2基、7t×2基増設)、糶摺・色選施設(色彩選別機1基)、集塵施設湿式集塵装置1基、集塵ファン1基
(3) 年間処理量 1,100t
(4) 予算額(決算額:平成28年度6月補正予算計上)
ア 事業費 275,076,000円
イ 補助金 115,670,000円(内訳:国 94,964,000円、市 20,706,000円)

<現状に対する認識>

- 1 荒廃農地の拡大防止と復元を図るには、継続的な取組みが必要である。
- 2 米の乾燥調整作業、荷受け作業の効率化、労働環境の改善が図られる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	そば作付け面積(ha)				
指標の設定理由	作付け面積により効果が直接的に把握できるため				
目標値	36	36	36	36	36
実績値	36.6	31.2	31.9		
達成度	101.7%	86.7%	88.6%		
② 成果指標(指標名)	波田ライスセンター乾燥調製施設整備事業工事進捗率(%)【事業完了】				
指標の設定理由	—				
目標値	100%	—	—	—	—
実績値	100%	—	—	—	—
達成度	100.0%				

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	115,647		261		261		270			
国・県	94,964									
利用者負担金										
その他										
一般財源	20,683		261		261		270			
② 人件費(千円)	2,307	人工	76	人工	77	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	76	0.01	77	0.01				
嘱託										
合計コスト①+②	117,954		337		338		270			
前年度比	—		0.3%		100.3%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

17~

梓川地域の農業組織に対して支援を実施し、野菜、果物の特産品の振興と課題に向けた取り組みを整理し、需要の動向に即した生産性の向上及び適地適産による主産地形成を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 梓川園芸特産振興協議会(負担金) 【梓川地区】
 - 野菜特産振興 (試験実証ほ場の設置 ジュース用トマト 1箇所)
 - そ菜共進会への参加
 - 有害鳥獣駆除への協力
- うまいだもの推進対策梓川実践本部(負担金) 【梓川地区】
 - 生産安定対策
 - 交配蜂の利用及び導入(ツツハナバチ・ミツバチの利用)
 - 栽培規模拡大対策
 - ア もも新品種導入対策
 - ・新品種の導入及び栽培技術の確立
 - イ ぶどう大粒種結実確保対策
 - ・適地適産品種及び栽培技術の検討
 - ウ 新興果樹栽培対策
 - ・生産安定対策及び栽培技術の確立
 - エ なし栽培技術対策
 - ・結実確保対策及び防霜資材の検討
 - 有害鳥獣被害対策
 - 「ウルフピー」による、サル、イノシシ忌避効果試験

<現状に対する認識>

継続的な組織への支援(育成)は、産地形成に対して必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	対策試験(試験数)				
指標の設定理由	地域の特産品の振興と課題に向けた取り組みが把握できるため				
目標値	8	8	8	8	8
実績値	8	8	8		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	150		150		150		150			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	150		150		150		150			
② 人件費(千円)	29	人工	29	人工	29	人工		人工		人工
正規										
嘱託	29	0.01	29	0.01	29	0.01				
合計コスト①+②	179		179		179		150			
前年度比	—		100.2%		99.8%		—			

事務事業評価票

事務事業名	畜産振興
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	畜産振興費

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	17~32
--------	-------

放牧飼育できる場所の提供等により畜産振興を図り、農林業・観光の振興と荒廃地の拡大防止を促進することにより、地域振興へ繋げる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 赤田沢牧場賃借料
 - 事業内容
市が牧場用地を国から借受け(有)山岳牧畜研究会へ貸出し、高品質な乳製品等の加工、ブラウンスイス種を広大な草地で放牧飼育できる場所の提供する。
 - 活動指標
施設規模による飼育可能頭数 35頭 (H30年度実績 18頭)
- 畜産環境リース貸付料助成事業補助金
対象畜産農家が、H29年度にリース終了となり、当初の目的が達成されたため、H29年度に事業を廃止。

<現状に対する認識>

・近年酪農家の減少に伴い放牧牛が減少しているため継続的な支援を行っている。
 ・活動指標の目標値が35頭、H30年度の実績が18頭の状況となっているが、飼育頭数の目標値は、あくまでも目安として設定しており、高品質な乳製品(牛乳、チーズ、ヨーグルト等)の製造を主体としているため、牛の環境を考慮した頭数を維持している。

<指標の達成状況>

	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度
① 成果指標(指標名)	施設規模によるブラウンスイス種(乳牛)の飼育可能頭数				
指標の設定理由	畜産振興の状況が把握できるため				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	27	20	18		
達成度	77.1%	57.1%	51.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	415		400		179		180			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	415		400		179		180			
② 人件費(千円)	1,439	人工	1,428	人工	1,439	人工		人工		人工
正規	1,154	0.15	1,139	0.15	1,154	0.15				
嘱託	285	0.1	289	0.1	285	0.1				
合計コスト①+②	1,854		1,828		1,618		180			
前年度比	—		98.6%		88.5%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	多面的機能支払交付金事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	多面的機能支払交付金事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

26 ~

地域が共同で農地・水路等施設の維持管理、農村環境の向上に関する取り組み及び農業施設等の長寿命化への取組を行い地域の農業振興に努めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者等が共同して取り組む地域活動や、地域資源(農地・水路・農道等)の質的向上に資する活動に対して支援するもの(対象農地 農振農用地区域内の農地)

1 農地維持支払

農地・水路の法面の草刈り、泥上げ等の地域資源の保全・管理活動への支援: 田3,000円、畑2,000円、草地240円(10a当り)

平成30年度実績値 取組組織数 11組織、取組面積 944.20ha

2 資源向上支払(共同活動)

水路、農道等の軽微な補修や植栽などの環境保全活動への支援 田2,400円、畑1,440円、草地240円(10a当り)

平成30年度実績値 取組組織数 3組織、取組面積 170.72ha

3 資源向上支払(長寿命化)

老朽化した水路、農道などの施設の補修・更新への支援 田4,400円、畑2,000円、草地400円(10a当り)

平成30年度実績値 取組組織数 6組織、取組面積 772.12ha

4 事業区域 安曇、奈川、梓川、波田

5 負担割合 国50%、県25%、市25%

<現状に対する認識>

1 活動組織にあつては、高度な事務処理能力が求められており、事務処理者の確保に苦慮している組織もあり、事務処理の簡略化等の意見を国等へ伝えていくことに努める。

2 事務処理者の確保対策として、集落単位の組織から、広域組織への移行の検討を要している。

3 資源向上支払(長寿命化)を取組組織が平成28年度4組織から平成29年度6組織となった。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	取組目標面積(農地維持支払面積を基準:ha)				
指標の設定理由	平成32年度における取組面積を農振農用地面積の60%と設定しているため。				
目標値	943	1,174	1,205	1,236	1,267
実績値	943	943	944		
達成度	100.0%	80.3%	78.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	44,672		52,091		49,120		53,640			
国・県	33,466		41,443		36,868		40,258			
利用者負担金										
その他										
一般財源	11,206		10,648		12,252		13,382			
② 人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工	9,115	人工		人工		人工
正規	7,690	1.0	7,590	1.0	7,690	1.0				
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,425	0.5				
合計コスト①+②	53,787		61,126		58,235		53,640			
前年度比	—		113.6%		95.3%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独耕地事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独耕地事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安曇・奈川・梓川・波田4地区の農道・排水路等老朽化した農業用施設の施設改修を行い農業の経営安定を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 土地改良施設管理事業
豪雨時の農業用水路の排水路への排水管理を土地改良区へ委託するもの
(1) 委託先 波田堰土地改良区(北原排水施設)
- 市単工事業
老朽化した農道・排水路等の施設の改修を行うもの
(1) 農道整備 7ヶ所
(2) 排水路整備 13カ所
(3) その他(浚渫等) 6カ所
- 市単原材料
農道等の軽微な補修に係る原材料費
- 農業用水路・排水路の維持管理に係る経費を負担するもの
(1) 黒川堰土地改良区負担金
(2) 長尾堰維持管理負担金
(3) 安曇野・松本行政事務組合負担金
- 換地処分更生に係る測量・書類の作成を委託するもの
- 土地改良区等団体が行う農業用施設の整備に対し補助するもの
(1) 整備箇所 11カ所
(2) 補助率 事業費の60%
- 平成30年3月22日発生 of 法面崩落に係る損害賠償

<現状に対する認識>

農業用施設の維持管理等を通じて農業経営の安定に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	25,538		26,083		45,230		26,760			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,538		26,083		45,230		26,760			
② 人件費(千円)	4,415	人工	4,373	人工	5,184	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	4,614	0.6				
嘱託	570	0.2	578	0.2	570	0.2				
合計コスト①+②	29,953		30,456		50,414		26,760			
前年度比	—		101.7%		165.5%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農林漁業資金償還事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農林漁業資金償還事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~ 35

土地改良事業の施工により、農業生産基盤の整備を行い、農業の有する多面的機能の発揮を図るとともに、安定した営農基盤の確立を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

土地改良事業施行にあたり、財源の一部として借り入れた農林業資金の償還分に対する補助金交付事業。

1 県営ほ場整備事業償還金補助(三郷南部地区)

- (1) 償還期間:平成35年度まで
- (2) 補助金額 33千円

2 波田土地改良事業償還金補助

- (1) 償還期間:平成31年度まで
- (2) 補助金額 5,820千円

3 安曇野広域排水事業償還金補助

- (1) 償還期間:平成32年度まで
- (2) 補助金額 18,795千円

<現状に対する認識>

以前に実施した土地改良事業の償還金に対する補助であり、償還が終了するまで補助する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	償還計画表による償還金補助負担額(千円)				
指標の設定理由	各事業ごとの償還計画に基づく補助金額を設定				
目標値	26,210	25,720	24,660	22,930	18,830
実績値	26,200	25,702	24,660		
達成度	100.0%	99.9%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	26,200		25,702		24,660		22,930			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	26,200		25,702		24,660		22,930			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	26,969		26,461		25,429		22,930			
前年度比	—		98.1%		96.1%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	県営土地改良事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県営土地改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 19 ~ 35

豪雨時の溢水被害防止対策や県営事業で整備した畑地帯のかんがい配水施設が老朽化し、漏水や破管により営農に支障をきたしているため、県営土地改良事業により施設の再整備等を行い、農業用水の安定供給と維持管理経費の軽減、安定した営農基盤の確立を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 県営 かんがい排水事業(梓川右岸地区:波田)
 - 総事業費 3,105,000千円
(負担割合:国50%、県25%、市25%)
 - 事業年度 平成19年度~平成35年度
 - 事業内容 排水路整備 3,152m
 - 平成30年度末進捗率 23.7%(事業費基準)c=120,000 負担金30,000
- 県営 畑地帯総合整備事業(中下原平林地区:波田)
 - 総事業費 1,660,000千円
(負担割合:国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%)
 - 事業年度 平成25年度~平成34年度
 - 事業内容 畑地かんがい施設受益地面積 130ha
排水路整備3,880m、
農道整備1,160m、農地改良5ha
 - 平成30年度末進捗率 49.2%(事業費基準)c=181,000 負担金23,282
- 県営 基幹水利施設ストックマネジメント事業(新村堰地区:波田)
 - 総事業費 188,866千円
(負担割合:国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%)
 - 事業年度 平成30年度~平成35年度
 - 事業内容 計画概要書作成 1式、用水路補修 1,120m
 - 平成30年度末進捗率 4.6%(事業費基準)c=8,866 補助金1,283

<現状に対する認識>

・平成31年度事業費はシールドマシン作成等のため、排水路工の工事進捗計画は無しとの予定。
・県営畑地帯総合整備事業(中下原平林地区:波田)国の事業費予算配分に伴い完了年度の延長。(H32→H34)

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	県営かんがい排水事業 排水路工事延長(m)				
指標の設定理由	工事延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	887	1,401	1,704	1,704	2,171
実績値	1,095	1,250	1,344		
達成度	123.4%	89.2%	78.9%		
② 成果指標(指標名)	県営畑地帯総合整備事業 畑地かんがい施設更新工事面積(ha)				
指標の設定理由	工事面積により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	0	25	66	102	130
実績値	0	21.5	52.4		
達成度	-	86.0%	79.4%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	52,852	48,855	59,590	120,920				
国・県								
利用者負担金								
その他	28,300	25,600		31,500				
一般財源	24,552	23,255	59,590	89,420				
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	5,383	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	5,383	0.7		
嘱託								
合計コスト①+②	57,466	53,409	64,973	120,920				
前年度比	-	92.9%	121.7%	-				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	安曇地区維持管理
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	地域排水施設
予算中事業名	安曇地区維持管理

<事業の狙い>

事業計画年度

H8~

農業用水の水質保全及び生活環境の整備並びに農業集落排水処理施設の機能維持等の適正化を図る。
また、施設の改修により延命を図り経費の削減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水処理施設維持管理業務(稲核・島々・大野田地区) ・農業集落排水処理施設計画概要書作成(島々)
2 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・放流水の水質確保及び、施設の劣化防止 ・施設の改修による延命化及び経費の削減
3 活動実績	維持管理(稲核・島々・大野田地区) 処理施設 巡回管理 1回/週(年52回) 水質検査 1回/月(年12回) マンホールポンプ施設(稲核3基・島々2基) 巡回管理 1回/月(年12回) 清掃点検 1回/年 島々処理場計画概要書作成(機能強化)

<現状に対する認識>

島々(H8)、大野田(H10)、稲核(H12)と設置以来16年以上が経過し、施設の劣化が進んでいる。ポンプ類や計装類は日常の点検や修理等により正常に機能しているが、更新時期を迎えた機器が多い。
また、汚水処理槽のコンクリートの劣化が進んでおり、対策工事が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	放流水が水質基準に適合している割合				
指標の設定理由	放流水質が適正であれば施設の維持管理が適正に行われていると判断できるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%		
達成度	100%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	施設改修の推進(事業費ベース進捗率)				
指標の設定理由	多種目にわたる工種があるため事業量で進捗を示すことが困難				
目標値	2%	5%	8%	12%	40%
実績値	2%	5%	8%		
達成度	100%	100%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	23,540		22,472		24,740		25,340			
国・県	4,000		2,500		2,500		1,500			
利用者負担金										
その他										
一般財源	19,540		19,972		22,240		23,840			
② 人件費(千円)	2,877	人工	2,855	人工	2,877	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3				
嘱託	570	0.2	578	0.2	570	0.2				
合計コスト①+②	26,417		25,327		27,617		25,340			
前年度比	—		95.9%		109.0%		—			

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	小規模集合排水施設維持管理
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	地域排水施設
予算中事業名	小規模集合排水施設維持管理

<事業の狙い>

事業計画年度

H8~

農業用水の水質保全及び生活環境の整備並びに農業集落排水処理施設の機能維持等の適正化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容	野沢小規模集合排水処理施設の維持管理業務
2 事業の目的	放流水の水質確保及び、施設の劣化防止
3 活動実績	処理施設 巡回管理 1回/月(年12回) 水質検査 1回/年 マンホールポンプ施設 巡回管理 1回/月(年12回) 清掃点検 1回/年

<現状に対する認識>

適正に管理されている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	放流水が水質基準に適合している割合				
指標の設定理由	放流水質が適正であれば施設の維持管理が適正に行われていると判断できるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%		
達成度	100%	100%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	740		472		750		540			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	740		472		750		540			
② 人件費(千円)	1,054	人工	1,048	人工	1,054	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1				
嘱託	285	0.1	289	0.1	285	0.1				
合計コスト①+②	1,794		1,520		1,804		540			
前年度比	—		84.7%		118.7%		—			

農業委員会事務局

事務局長 山田 賢司

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	農業委員活動
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農業委員活動費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

優良農地の確保と遊休荒廃農地の解消及び地域農業の振興を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 平成28年4月に改正された農業委員会等に関する法律に基づき、平成30年8月から本市農業委員会を新体制に移行
旧体制(4月～7月) 農業委員49名 総会・農地部会・農業振興部会各3回開催
新体制(8月～3月) 農業委員26名 農地利用最適化推進委員18名 総会7回、臨時総会1回、農業振興委員会4回、情報・研修委員会6回開催
2 農地法に基づく農地転用等の許認可を行う。
3 農業政策に関する市長意見書の提出、広報活動、農業者の育成等農業振興に関することの協議を行う。

<現状に対する認識>

農業委員会が、その主たる使命である農地利用の最適化(担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)を進めるため、農業委員と農地利用最適化推進委員が密接に連携し、現場活動に取り組む。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,618		3,353		3,096		3,680			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,618		3,353		3,096					
② 人件費(千円)	34605	人工	34,155	人工	33975	人工		人工		人工
正規	34,605	4.5	34,155	4.5	33,975	4.5				
嘱託										
合計コスト①+②	38,223		37,508		37,071		3,680			
前年度比	—		98.1%		98.8%		—			

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	農業者年金事務
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農業者年金事務費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 農業者年金制度の周知・普及活動及び新規加入者の受付や加入者・受給者からの諸届出の受付、点検、記載内容の事実確認等の事務について独立行政法人農業者年金基金から委託を受けている。
- 2 JAとともに、加入希望者にその制度やメリットを周知・普及を行う。
- 3 農業委員会が構成員となっている農業者年金協議会を設置し、農業者年金制度の拡大強化を図っている。(市から負担金支出370千円)
- 4 基金が「加入者累計13万人早期達成3カ年運動」という目標を示したことにあわせ、平成30年度から令和2年度の3カ年で新規加入26人を目標に設定

<現状に対する認識>

公的年金だけでは、老後の生活が賅えないと見込まれており、農業者が安定した老後を過ごすために、農業者年金制度の中身をよく知っていただき、加入推進を図ることが必要
 H30年度新規加入目標 9人
 H30年度新規加入者 13人

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	5つの重点目標
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	農業者年金新規加入者				
指標の設定理由	新規加入者数が事業の成果を示すため。				
目標値	11	11	9	9	8
実績値	15	10	13		
達成度	136.4%	90.9%	144.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	692	613	623	650						
国・県										
利用者負担金										
その他	251	175	46							
一般財源	441	438	577							
② 人件費(千円)	6,921	人工	6,831	人工	6,795	人工		人工		人工
正規	6,921	0.9	6,831	0.9	6,795	0.9				
嘱託										
合計コスト①+②	7,613	7,444	7,418	650						
前年度比	—	97.8%	99.7%	—						

事務事業評価票

事務事業名	農業委員会事務局
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農業委員会事務局費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

農業委員会を適正に運営することにより、農業情報を農業者への確に提供
議事録を作成し、審議過程を公表することで、委員会の透明性を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 「農業委員会だより」の発行(年2回)
- 農業委員会定例会総会の議事録を作成し、ホームページで公表(毎月作成及び公表)
- 各種加盟協議会等への負担金を支出し研修活動を支援

<現状に対する認識>

農業委員会等に関する法律に基づいた適正な委員会運営を行い、活動内容を広く市民へ周知することで、農業振興を図っていく。

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<指標の達成状況>		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	国・県	274	210	266					
	利用者負担金								
	その他	285	271	250					
	一般財源	3,729	3,787	3,675					
② 人件費(千円)	6,152	人工	6,072	人工	6,040	人工		人工	
	正規	6,152	0.8	6,072	0.8	6,040	0.8		
嘱託									
合計コスト①+②	10,440	10,340	10,231	4,280					
前年度比	—	99.0%	98.9%	—					

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	農地銀行活動促進事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農地銀行活動促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

農家の経営規模拡大や農地の有効利用を図るもの。
農業委員会が法令業務を行うための基礎資料として活用するため、農地台帳の整備を行い、業務の効率化を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 (一社)松本農業開発センターを中心とした農地銀行をとおして、規定に基づき、農地利用集積を行い、農地の貸し借りの調整や管理をする。
- 2 農地パトロール(利用状況調査)を行い、調査結果を基に遊休農地と判断された農地の所有者に対し、利用意向調査を行う。さらに、再生利用困難と判断された農地について、非農地判断を行う。
- 3 現地調査を行い、農地台帳システム及び全庁利用型・汎用GISシステムへ調査結果を反映し、農家の営農状況、農地の利用状況の管理を行う。

<現状に対する認識>

農業従事者の減少や、高齢化等による遊休農地の増加、山麓沿いの遊休農地の山林化等課題は多く、その解消に向けた対応を検討していく。

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	遊休農地解消面積				
指標の設定理由	遊休農地解消面積が本事業の成果を示すため。				
目標値	44	24	10		
実績値	66.4	10	11.4		
達成度	150.9%	41.7%	114.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	2,966	1,660	1,681	2,080	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,966	1,660	1,681		
② 人件費(千円)	6,921	人工	13,662	人工	13,590
正規	6,921	0.9	13,662	1.8	13,590
嘱託					
合計コスト①+②	9,887	15,322	15,271	2,080	
前年度比	—	155.0%	99.7%	—	